

## 道徳教育・道徳科に関する校内研修を充実させたい

3	道徳教育に関する校内研修	41
(1)	校内研修の進め方	41
①	研修日・時間の設定	41
②	校内研修を進める方法	42
(2)	研修内容例	43
①	年度当初	43
②	年度途中	44
③	年度途中・年度末	45
4	道徳科の校内研修	46
(1)	事前研究をしよう！	
①	教材分析	46
②	主題解釈と教材解釈	49
③	学習指導案の作成	50
④	学習指導案の検討	55
⑤	模擬授業	55
(2)	授業研究をしよう！	57
①	ビデオ記録の活用	57
②	授業記録用紙の活用	58
(3)	事後研究をしよう！	
①	研究協議会	60
②	ワークショップ型の研究協議	62
③	授業評価	63
④	オンラインによる授業研究	66
5	道徳教育改善・充実のための情報発信	67
	※研究日より，道徳通信，掲示物等	



**全教師が協力し合う  
指導体制を充実させる  
ことが大切です！**



## D。授業実践のために

### 3 道德教育に関する校内研修

道德教育を効果的に進めるためには、全教員が道德教育及び道德科の重要性や特質について、理解を深めるとともに学校の道德教育の基本的な方針を共通理解し、協力して道德教育を展開するための道德教育に関する校内研修を充実させることが大切です。

高等学校においては、生徒の発達段階に対応した指導の工夫が求められることや小・中学校と異なり道德科が設けられていないことなどから、道德教育の指導に係る共通理解を図る研修を設定するなどの配慮が必要です。



県内において道德教育の研修の状況については、図1の令和元年度市町道德教育推進協議会参加者アンケート結果（左側）を見ると、「道德教育に関する研修を計画的に行っている」に対して肯定的回答が9割を超えており、各校において道德教育が計画的に進められてきていることが分かります。しかしながら、研修の充実や内容の工夫については、肯定的回答が8割台となっており、計画している毎回の研修内容をより一層充実させていくことが大切と言えます。

また、同アンケート結果（右側）を見ると、道德教育推進教師に関する各項目の肯定的回答が8割を超えており、各校において、道德教育推進教師が確実に位置付けられ、その役割を果たしていることが分かります。しかしながら、道德科に関する項目に比べ、道德教育に関する項目の肯定的回答が低くなっていることや、道德教育推進教師自身の働きに関する項目が他の項目よりも肯定的回答が低くなっていることから、道德教育推進教師の役割を明確化するとともに、全教師が協力して道德教育を展開することができる体制づくりが重要となります。

これらのことを踏まえ、各校の実情に応じて全教師が積極的に関わることができる機能的な協力体制を構築し、計画的に道德教育に関する研修を進めていくことが大切です。

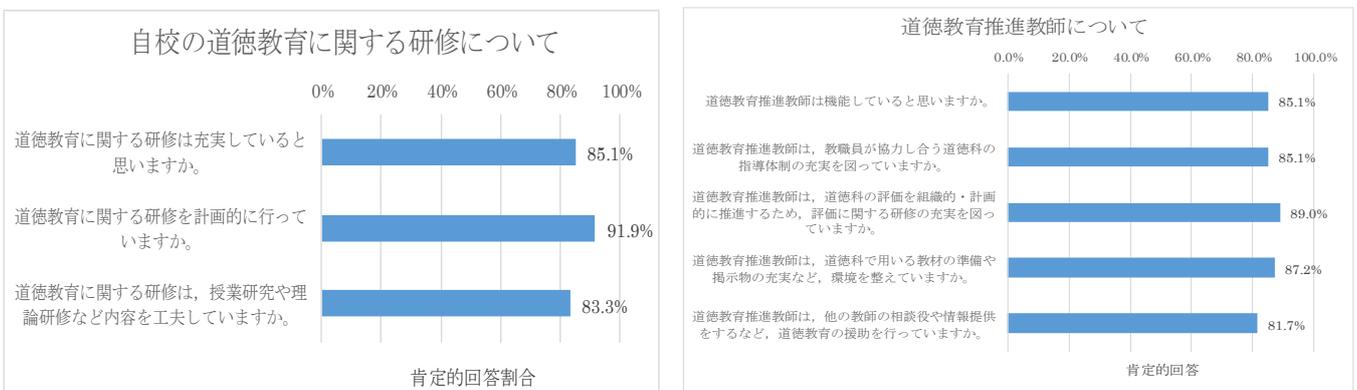


図1 令和元年度市町道德教育推進協議会参加者アンケート結果  
(広島市を除く22市町)

#### (1) 校内研修の進め方

##### ① 研修日・時間の設定

年度当初から計画的に校内研修を進めていくためには、前年度のうちに次年度研修計画を作成するとともに、道德教育に関する研修を計画・実施しておくことが大切です。

また、校内研修は、全教員の共通理解を図る場となるので、道德の理論研修や授業研究を設定しておくことで理論と実践が結び付き、指導力の向上にもつながります。研修を設定する際は、研修のおおまかな内容や担当分掌等を明確にしておくことで、研修を進めやすくなります。

講師招へいについては、前年度のうちで予定を立て依頼をしておくことでスムーズに実施できます。



〈例〉研修計画（中学校：道徳教育に関するもの）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内容	○生徒の実態把握 → 重点目標等の共通理解		○授業研究（第三学年） ※講師招へい		○一学期の取組の振り返り → 二学期以降の方向性の確認		○授業研究（第二学年）	○これまでの取組の振り返り → 三学期に向けて		○授業研究（第一学年）	○今年度の取組の振り返り → 次年度に向けて	
	全体計画を基に、どのように道徳教育を進めていくのかを確認していきます。			生徒の実態や取組の成果・課題を整理し、二学期以降の取組につないでいきます。			生徒の実態や取組の成果・課題を基に、重点目標等の見直しをしていきます。					
担当分掌等	生徒指導部 研究部		研究部 （二学年会）		研究部		研究部 （二学年会）		研究部 （二学年会）		生徒指導部 研究部	

※水曜日の研修時間を予定していますが変更もあります。  
※授業研究は5校時を予定しています。

② 校内研修を進める方法

- (ア) 全教員が役割を分担し、全員で研修を進める方法
- (イ) 分掌組織によって進める方法
- (ウ) 道徳教育推進教師が中心となって進める方法
- (エ) 指導者を招へいして研修を進める方法
- (オ) 道徳科の授業や道徳的実践の指導などを通して研修を進める方法

道徳教育推進教師一人で悩むのではなく、教務主任や研究主任の先生方と連携して進めましょう！



ここがポイント！

- 常に子供から出発して、指導に還元できるようにしましょう。
- 目指す子供像を設定し、共通理解を図りましょう。  
※小学校は中学校の、中学校は高等学校の実態を聴くことで、良さや課題を把握でき、子供たちにどんな力を付ける必要があるかが明確になります。
- 全教員が意欲的に取り組める内容にしましょう。
- 記録を取り、次への研修に活かすことができるようにしましょう。
- 道徳教育推進教師一人で進めるのではなく、組織的な活動になるようにしましょう。
- 研修後、各自が明日からの授業に何を生かすか、振り返りを大切にしましょう。

例：「自分化宣言」

**10/9校内研修 自分化宣言**

私、は、

 **します。**

## (2) 研修内容例

### ① 年度当初

#### 道徳教育の全体計画に関する内容



年度当初に全教員で共通理解することで、重点を意識した取組につながります！

#### 〈事例〉研修テーマ「生徒実態を踏まえた重点目標の確認」

##### 〔当日の流れ〕

- 道徳教育推進教師と生徒指導主事が役割分担をし、運営していきます。
- 1 前年度までの児童生徒実態（良さや課題）をアンケート等の資料を基に共通理解を図る。  
※前年度から勤務している教員に具体的な状況を話してもらうよう事前に依頼しておく。
- 2 今年度の道徳教育の全体計画を見ながら、「1」を踏まえた目指す児童生徒像を確認する。
- 3 道徳教育の重点目標の確認。
- 4 各学年の道徳教育の重点目標の確認。
- 5 各教科等で重点目標を意識した取組をしていくことを確認し、学期末に各教科等における児童生徒の様子（変容：とりわけ重点目標にかかわって）を交流する場を設定していることを伝える。

学校教育目標の具現化を図るためにも、各校において全教育活動を通して目指す児童生徒の姿を、より具体的に設定するといいかもかもしれませんね。

児童生徒の実態と、保護者や地域の人々の願い、教職員の願い等を踏まえて、具体的な児童生徒の姿を設定しましょう。



学校教育目標の具現化を図るためにも、全ての教育活動を、この目指す児童生徒の姿にリンクさせて取り組んでいきましょう！

また、目指す児童生徒の姿に関連の深い内容項目を整理することで、重点項目を設定したり、内容項目にかかわりのある教科や行事などを洗い出したりすることで、配列の工夫等もできますね！

#### ここがポイント！

- 道徳教育推進教師が全体を把握しながら、全教員が主体的に参画できるように、役割分担を行ったり、事前に協力を求めたりして、道徳教育を円滑に推進していきましょう。
- 道徳教育は学校の教育活動全体で行っていくものです。各教員がそれぞれの役割意識を持ち、自らの役割を進んで果たせるように、全教員が共通の課題意識をもって進めていきましょう。
- 道徳教育の重点目標（各学年の道徳教育の重点目標）を常に意識できるように、例えば常に見えるところに貼るなど、意識付けしていきましょう。

道徳的価値に迫る読み物教材の活用や、道徳的価値に関する問題解決的な学習・体験的な学習など、多様な指導方法を取り入れた授業を展開するために、計画的・組織的に研修しましょう。

② 年度途中

道徳教育に関する内容

〈事例〉道徳科における質の高い多様な指導方法について



【研修用実践事例DVD『主体的・対話的で深い学び』のある道徳科の授業づくりに向けて一小・中学校版一】を活用しよう ※県教育委員会ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/12doutoku/kensyudvd.html> [研修のねらい]

文部科学省の専門家会議で示された、道徳科に求められる質の高い指導方法である「登場人物への自我関与が中心の学習展開」、「問題解決的な学習展開」等の授業づくりに向けてDVDに収録された研究授業を視聴し、自らの授業を振り返りながら、より効果的な指導方法を検討することで、授業改善につなげていく。

【当日の流れ】

○道徳教育推進教師が中心となり、教務主任や研究主任と連携し、運営していきます。

- 1 DVDを視聴する前に、協議の柱となる視点を設定する。  
(例)「主体的な学び」を促す発問の工夫、「対話的な学び」を促す指導方法の工夫等
- 2 各自、中心発問や補助発問を考える。 ※学習指導案にある発問を隠しておくことも可
- 3 配布資料を読む(「研修用実践事例DVDの活用について」、小学校第4学年「雨のバス停留所」の教材、学習指導案)。
- 4 DVDを視聴する。
- 5 グループごと、1で設定した協議の柱をもとに、次の視点で協議を行う。  
(例)・視点① 参考になる点 ・視点② 改善できる点
- 6 各市町、各校における道徳科の授業改善の方向性について協議する。
- 7 まとめ (道徳教育推進教師等)



図2 教材：わたしたちの道徳（小学校1・2年）増補版

視点	
①参考になる点	②改善できる点
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の方向性について	

図3 演習シート

ここがポイント！

- 道徳科の授業が児童生徒にとって、深く考える主体的・能動的な学習になるためには、何よりも教員が能動的な学習者でなければなりません。質の高い多様な指導方法を目指して、研修することが求められます。
- 道徳科の指導力向上のために、授業の準備、実施、振り返りの各プロセスを含め、全教員が、道徳科の学習指導案の作成や授業実践を少なくとも年に1回は担当して授業を公開するなど、学校全体での積極的な指導力向上の取組に努めましょう。

### ③ 年度途中・年度末

〈事例〉 研修テーマ「道徳科の年間指導計画の評価・改善に向けて」〈例〉



道徳教育の要となる道徳科の授業が、より児童生徒の心に響くものとなるように、年度当初に確認した事項を学期ごとに全教員で振り返る時間を設けることで、授業改善を図っていくことができます。また、年度末に行うことで、次年度につながる評価・改善を行うことができます。

#### 〔当日の流れ〕

○道徳教育推進教師が中心となり、学年主任等と連携し、運営していきます。

- 1 客観的なデータを基に、児童生徒の実態を交流する。
- 2 年度当初確認した事項(★)について、各学年会で確認したものをもちより、全体で交流する。
- 3 質疑応答。
- 4 共通理解を図り、今後の工夫・改善に生かす。

#### ★【年度当初 確認事項】

- ①各学年において、道徳科の年間指導計画に基づき、次週の道徳の授業に向けて学習指導過程や「私たちの道徳」の活用の仕方を明示したもの(参照例)で提案する(学年会内輪番制)。
- ②提案したものは、共有フォルダ「道徳」→「(該当)学年」に保存しておく。
- ③学習指導過程等を追加変更した際は、朱書きしておく。
- ④児童生徒のワークシートには、授業についてのアンケート項目を入れておき、児童生徒の受け止めを反映させる。
- ⑤「成果と課題」には、ねらいにせまる中心発問であったか等について、具体的な児童生徒の反応から記入する(授業後)。

児童生徒自身が自分との関わりで深く考えられるよう、手立てが効果的であったかを見直すことができます。また、具体的な児童生徒の反応から授業を振り返ることにより、発問の構成を再検討するなど、授業改善に生かすことができます！



#### (参照例)

期日	12月12日(金)			
主題名	自分の言動に責任を	内容項目	自主、自律A(1)	
教材名	ネット将棋	出典	□私たちの道徳(文部科学省)	
ねらい	誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を養う。			
学習指導過程	○どう考えて僕はネット将棋でいきなりログアウトしたのだろう。 ○心から「負けました。」と言うことができるのは、どのような思いからだろうか。 ◎敏和のツッコミに明子と智子は笑ったが、僕が笑えなかったのは、どのようなことを考えているからだろうか。			
「私たちの道徳」の活用	学級活動や常時活動において引き続き、p22~27「自分で考え実行し責任をもつ」を活用し、誠実に他者に接することの大切さについて考える。			
他の教育活動等との関連	学級活動(自己理解と生活設計)			
〈授業についての生徒アンケート〉	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今日の授業はためになったか。	%	%	%	%
自分の思いや考えをもち、振り返ることができた。	%	%	%	%
教材がよかった。	%	%	%	%
成果と課題				

#### (授業後)

期日	12月12日(金)			
主題名	自分の言動に責任を	内容項目	自主、自律A(1)	
教材名	ネット将棋	出典	□私たちの道徳(文部科学省)	
ねらい	誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を養う。			
学習指導過程	○スポーツと将棋の違いについて確認をする。 ○どう考えて僕はネット将棋でいきなりログアウトしたのだろう。 ◎心から「負けました。」と言うことができるのは、どのような思いからだろうか。 ◎敏和のツッコミに明子と智子は笑ったが、僕が笑えなかったのは、どのようなことを考えているからだろうか。 ○「私たちの道徳」p25に記入し、交流する。			
「私たちの道徳」の活用	学級活動や常時活動において引き続き、p22~27「自分で考え実行し責任をもつ」を活用し、誠実に他者に接することの大切さについて考える。			
他の教育活動等との関連	学級活動(自己理解と生活設計)			
〈授業についての生徒アンケート〉	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今日の授業はためになったか。	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%
自分の思いや考えをもち、振り返ることができた。	15.0%	63.3%	21.7%	0.0%
教材がよかった。	23.3%	70.0%	6.7%	0.0%
成果と課題	将棋をさしたことがない生徒がほとんどという実態である。そこで、導入においてスポーツと将棋の写真を提示し、将棋では「負けました。」と言って終わることや電子黒板でネット将棋の映像を提示し、全員が共通にイメージをもつため、教材を手掛かりに考えることができた。授業アンケートでは、「授業はためになった」、「教材がよかった」の数値は高いが、自分との関わりで十分に深められなかったことから中心発問における予想される生徒の反応からさらに深める発問を考えておくことが必要である。			

## 4 道徳科の校内研修

道徳科の指導においては、児童生徒一人一人が道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めることで道徳性を養うという特質を十分考慮し、それに応じた学習指導過程や指導方法を工夫することが大切です。それとともに、児童生徒が自らのよさや成長を実感できるように工夫することが求められます。そのためにも、道徳科の校内研修として、事前研究・授業研究・事後研究を行うなどして、授業改善を図っていくことが大切です。 ※（ ）は中学校

### （１）事前研究をしよう！

#### ① 教材分析

教材について、ねらいとの関わりで道徳的価値がどのように含まれているかについて検討します。例えば、人物が登場する読み物教材の場合、教材中の登場人物の行為や心の動き、教材に対する児童生徒の感じ方や考え方などを分析し、どのようにすれば学習意欲を高め、道徳的価値の自覚を深めることができるかなどについて多面的に検討しましょう。

#### <教材分析の例>

##### 1 教材を読み、場面ごとにまとめる。

- 時間経過、場面の变化等で3～4の場面に分ける。
- 各場面を短い言葉でまとめる。

##### 2 場面ごとの登場人物の行為、心の動きなど、キーワードとなる表現を読み取る。

- 会話文や副詞、形容詞などに注意する。

##### 3 登場人物の行為やその奥にある心の動きに含まれている価値を押さえる。

- 時間や場所の変化など、行間にも注意する。

##### 4 主人公の行為、心の動きを支えている価値を考え、本時のねらいにかかわる中心的な価値、関連価値をはっきりさせる。

- 教材の中に含まれている様々な価値を整理する。

##### 5 本時のねらいにせまる中心場面を考える。

- 授業展開の山場になる。
- ねらいによって中心場面は変わる。（主人公の変容場面、葛藤場面、満足場面など）

##### 6 中心発問を考える。

- 複数の発問を想定し、児童生徒の立場から心の動きを予想する。
- 児童生徒の多様な考え方を引き出せるような発問を考える。（書かれている内容や行動を問うだけの発問にならない）

##### 7 中心発問を生かすための基本発問、補助発問を考える。

- 基本発問は、精選し、時間をかけすぎない。

#### ここがポイント！

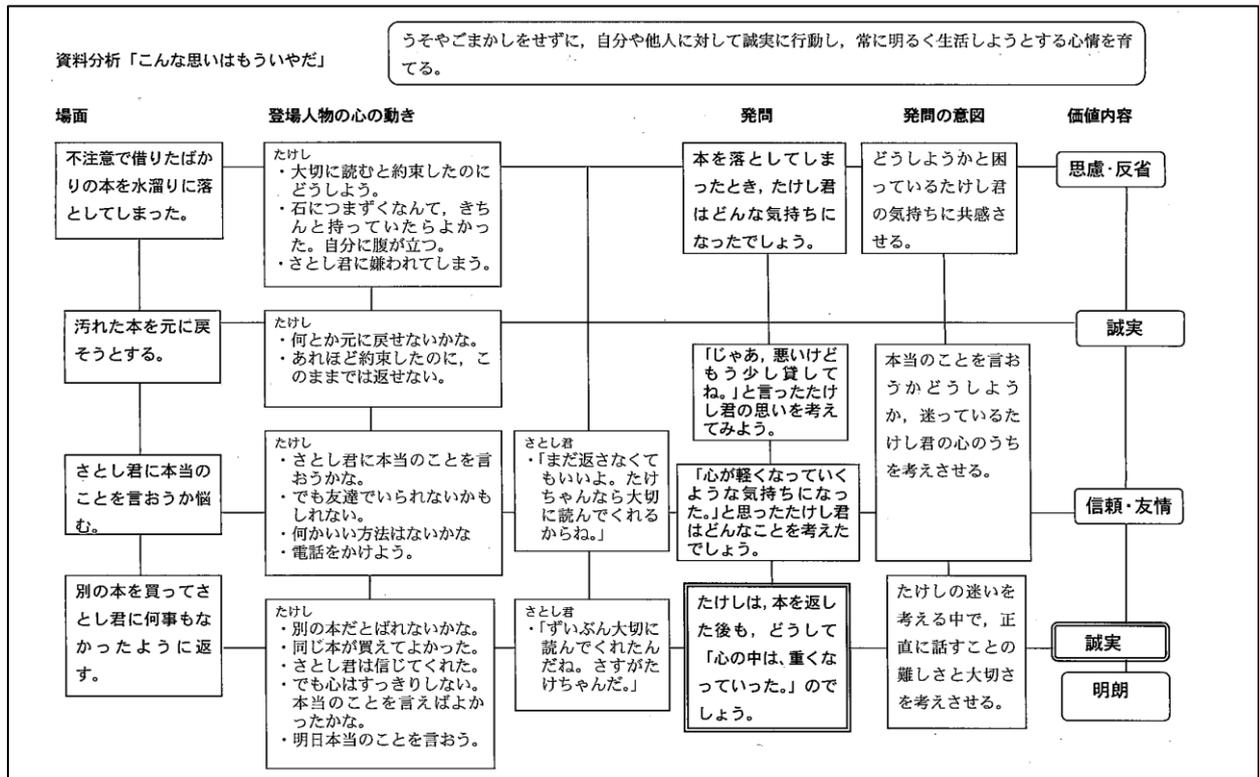
- 授業者の教材分析の深さが、授業を成功へと導きます。
- 児童生徒の実態を踏まえた、心の動きを予想しましょう。（同じ学習指導案でも、学級によって児童生徒の反応が違います。）
- 教員の視点での分析とともに、児童生徒の視点でも分析しましょう。

<教材分析表 (例)>

○ 心情曲線を生かした分析表

10 資料分析図		「監督のくれたメダル」		三年 内容項目4-(4)		役割の自覚		
場面	登場人物の心情・言動	中心人物	その他の人物	中心発問	生徒の反応	心情の流れ		
①野球部で	・人の気も知らないで・もうノックをするのを止めたい ・泣きたくなってくる ・監督は私のような日ツクをやつてく の当たらない人間の気れ ・持ちなど理解できない ・早くこの場から立ち 去りたい	・Yが来なく ・Yのショツクの大き さは私とは比べもの にならないだろう	・私だつて逃げ出した らと思つていた ・逃げ出したい気持ち を押さえて陰の仕事 をやつて	・Yが練習に姿を 現した	・自分の役割の大切 ノックは大切な役 クをする手から が痛くなく・チーム に貢献してYも頑張 っていることが分か つたから自分も頑 張ろう ・チームの一員とし て役割を果たして いる実感が持てた から	・つらい ・くやしい ・だれもわかつてく れない ・こんなことをする ために野球部には いつたのではな	・Yのショツクは自 分とは比べものに ならないだろう ・監督も悩んで出場 メンバーを選んで いるんだ ・逃げ出したいのに 陰の仕事をやつて いるんだ	・「最後までがんばつて みよう」と自分に言い 聞かせる ・監督がくれたメダル は私の宝であり、私の 人生の礎となっている
②県大会								
③五年後	・涙があふれて監督の 顔が霞んだ ・監督がメダルを 手渡した							

○ 発問の意図を明確にした分析表



○ 主人公の変容に着目した分析表

教材名 (出典名)	夜のくだもの屋 「中学生の道徳1 自分を見つめる」(廣濟堂あかつき株式会社)
主人公	少女
登場人物	父親, おばさん, おやじさん
資料の要約	コンクールに向けて, 夜遅くに帰宅する少女。 ある日から, 帰宅途中, 遅い時間にもかかわらず, くだもの屋に明かりがついていた。 コンクールも終わり, くだもの屋に立ち寄ると, 自分がロズさんでいたハミングが聞こえてくる。 少女は, 店主のおばさんが少女のためにあかりをつけてくれていたことを知った。
資料のメッセージ	相手の気持ちに立って, 思いやりのある行動をとればあたたかい気持ちになる。
内容項目	2-(2) 思いやり
変容ときっかけ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Before(道徳的な変容をする前)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがたいと思っはいるが, 伝えられない。</li> <li>・自分が頑張っている。(自分本位)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 150px;"> <p>助言者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くだもの屋のあかり</li> <li>・お婆さんの思いやり</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>After (道徳的な変容をした後)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素直に感謝できる。</li> <li>・自分の知らないところで, 多くの人に支えられている。</li> </ul> </div>
中心発問	少女が, 「この店のあかりがあんなにあたたかく見えたのは, 当然だった」と思ったのは, なぜだろう。
中心発問に対する予想される生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を思っつけていてくれたあかりだから。</li> <li>・お婆さんの優しさが込められていたから。</li> <li>・見ず知らずの自分への思いやりが込められていたから。</li> <li>・見返りを求めない</li> </ul> <p>補) 店主はどんな思いで毎日あかりをつけていたのだろう。 ほかにあかりはないだろうか 今までのあなたに, あかりはないですか</p>
基本発問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少女は, いつも遅くなることについて, どう思っっていたのだろう。</li> <li>・少女は, くだもの屋にあかりがついていることについて, どう思っっていたのだろう。</li> </ul>

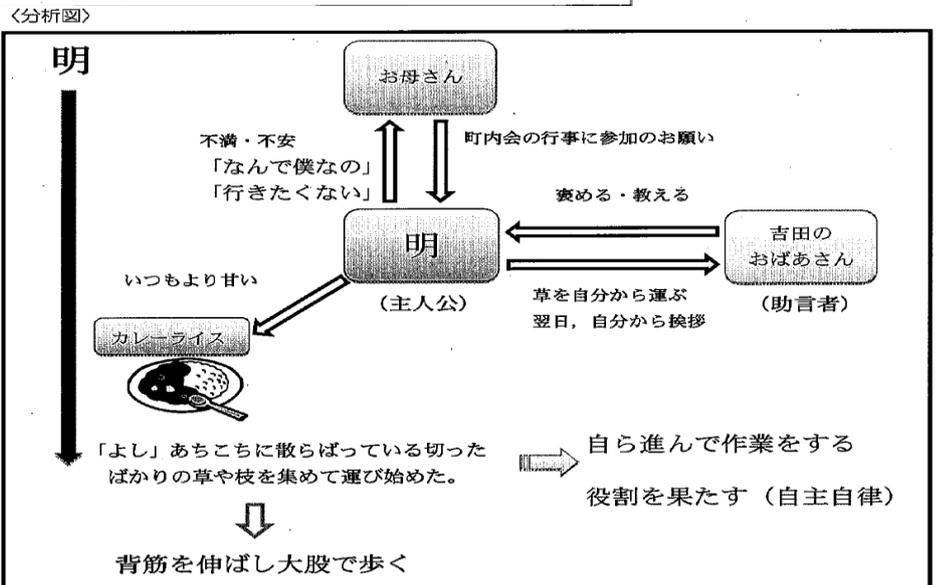
○ 登場人物等の関わりを図式化した分析表

「町内会デビュー」資料分析

1	主人公	明
2	変容	町内会の行事に参加したくない→参加をする→褒められる・気分が高まる→「よし」本気でやろう, やりがいがある, 人のために→大人になったような気持ち→大股で学校へ
3	山場	「よし」切ったばかりの草や枝を集めて運び始めた
4	助言者	吉田のお婆あさん

5 内容項目 1-(3) 自主

※上記5つの視点を持って資料を讀



## ② 主題解釈と教材解釈

授業者は、ねらいとする道徳的価値（道徳の内容）について、学習指導要領に基づき、明確な意図をもって授業に臨むことが大切です。

道徳科の授業で、子供たちにどのようなことを考えさせ、どのようなことに気付かせたいのかを明らかにするために、主題についてしっかりと分析しておきましょう。



### 主題解釈・教材解釈シートを用いた授業づくりの例 ※出典（広島大学大学院教育学研究科 教授 宮里 智恵）

道徳研修資料 第2学年 「キング」と呼ばれる理由 ～三浦知良～  
「主題解釈と教材解釈」 本日の主題 < くじけない心と強い意志 >

【1】主題解釈：この主題を学ぶ意義を捉えよう

#### ① 価値の 大切さ

価値に対する自分と他者の考えを整理し、多様な価値を考えることができる。

①この主題はなぜ大切？

ア自分なりに考えて  
・いざという時に頑張ろうとする力になるから。  
・壁にぶち当たった時それがないと乗り越えられないから。  
・それをもつことが自分の支えになることがあると思うから。  
・そういう価値があることを知るため。

イ他の先生方と話して  
・自分の人生を切り拓き、よりよく生きていくため。  
・自分の弱さに打ち勝つことで、目標を達成したり、自分自身の成長につながったりすることができるから。

②この主題の難しさは？  
(いつも誰にでもできますか?)

ア自分なりに考えて  
・困難にぶち当たった時、誰もが強い意志をもって進んでいくことができるわけではない。弱心が優先してしまうことも多々あると思う。  
・常に強い意志を維持し続けることは難しい。  
・牛乳のこれぞ人生経験の中で、虎口から「意志を突破する」という経験がないでいる中で、実感したり、自覚したりするのは工人がいる。  
・指導者と生徒の役割りや強い心のレベルの本質をどうに理解するかを工夫する必要がある。  
・強い意志があれば夢や目標が叶うわけではない。

イ他の先生方と話して  
・人には誰でも弱い部分があり、くじけそうになることがある。  
・常に強い意志をもち続けることはとても難しいことだと思う。

#### ② 価値を実現することの難しさ

人間の弱さなどを考え、人間理解を図ることができる。

#### ③ 実現する難しさを越えて大切にしたい理由

人間理解をした上でそれでも大切にしたい価値について考えることで、自分の中の価値を深めることができる。

③難しさを越えて大切にしたいのはなぜ？

・乗り越えた先に達成感や喜びが待っていることを伝えたいから。  
・価値づけすることで将来そのような場面になった時の支えとして欲しいから。  
・自分の弱さに打ち勝ち、自分の人生をよりよくして行ってほしいから。  
・目標をもって進んでいる時よりも、挫折をした後、這い上がる力の方がさらに強い心が必要になるから。

④学習指導要領にはどのように？

(1)内容項目の概要には  
・目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。困難や失敗があっても、それを乗り越え最後までやり遂げようとする強い意志を養うことが大切である。着実にやり遂げるためには、自分自身の弱さに打ち勝ち、一つの目標に向けて、計画的に実行していくことが必要である。

(2)指導の要点には  
・目標の達成には何が必要かを考えたり、自らの歩みを自己評価させたりすることが大切である。そして、達成できたときの達成感や満足感を繰り返し味わわせるとともに、希望をもつが故に直面する困難や失敗を乗り越えることが必要であると実感させ、困難や失敗を乗り越える自分なりの方法について考えさせることが重要である。一方で、努力が全て思い通りの結果に結びつくわけではない。従って、教師は生徒の努力を評価し、挑戦することから逃げないで努力し続ける姿勢が大切であることを伝えていく必要がある。

#### ⑤ 教材で何を考えさせるのか？

同じ主題でも多様な価値があることを理解した上で、教材を読むことにより、教材の中にある主題を焦点化することができる。

⑤教材から本時の主題を焦点化すると  
・目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。そのためにも目標の実現に向けて努力をするには必要である。しかし、努力が全て思い通りの結果に結びつくわけではない。従って、困難や失敗を乗り越えるためのくじけない心や強い意志をもたせることが重要である。

#### ④ 学習指導要領の 確認

一度価値について考えているので、学習指導要領に書かれている価値が理解しやすくなる。

【2】教材解釈：教材のどこを用いて学ぶのか捉えよう

⑥⑤を考えると、教材のどの部分が大切？それはなぜ？

ア自分なりに  
・第一志望欄に「ブラジルでプロサッカー選手になる」と書いているところ。(夢の実現のために自ら道を切り開くための強い信念をもっていたから。)  
・カズが「挫折をしてからが人生の始まり」と言っている部分。(目標をもって進んでいる時よりも、挫折した後のカズの方がカズの生き方を感じられるところだから。)

イ他の先生方と話して  
・「こういうことは今までに何度も経験してきた。これからも続けるだけ」と述べ、挫折しても乗り越えようとしている部分。(挫折をしても、強い意志をもって自分の道を切り開いているから。)

#### ⑥ 教材のどこで考えさせるのか？

焦点化した価値を深めるには、教材のどの部分が大切なのかを協議することで、ねらいがぶれない。また、協議する中で、中心発問、補助発問を考えることができる。

#### 【実施するときのポイント】

- 多様な意見に触れ多角的な視点を取り入れるために、複数人で協議をしましょう。

#### 【主題解釈をすることのメリット】

- 主題解釈後に教材解釈をすることで、教師自身の道徳的価値の理解が深まるとともに、本時で扱う価値が明確になることでねらいがぶれにくくなります。
- 複数人で協議をすることで、全教職員で道徳教育を推進しようという風土ができるとともに、研究の方向性を共有することができます。さらに、焦点化された主題を深めるために、どんな中心発問や補助発問が有効であるか等について発問構成を工夫することができます。

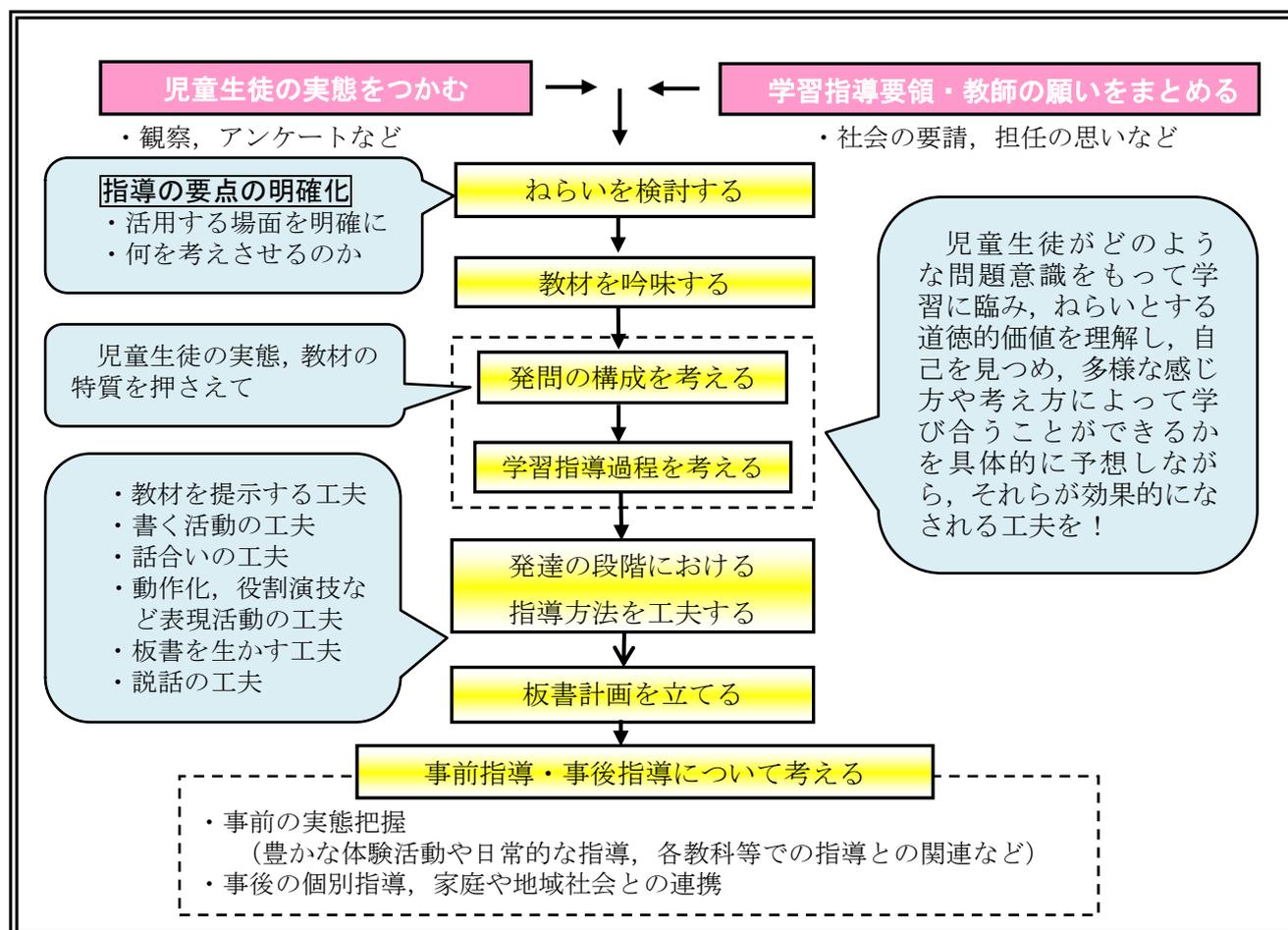


### ③ 学習指導案の作成

道徳科の学習指導案は、主題のねらいを達成するために、児童生徒がどのように学んでいくのかを十分に考慮し、何を、どのような順序、方法で指導し、評価し、更に指導に生かすのかなど、学習指導の構想を一定の形式に表現したものです。学習指導案の形式に特に決まった基準はありませんが、一般的には次のような事項が取り上げられます。

- 1 主題名
- 2 ねらいと教材
- 3 主題設定の理由（主題観・価値観，児童生徒観，教材観・指導観など）
- 4 学習指導過程（導入，展開，終末など）
- 5 その他  
（例えば，他の教育活動などとの関連，評価の観点，教材分析，板書計画，校長や教頭などの参加，など）

学習指導案作成の手順や留意点としては、次のようなことが考えられます。教科等との関連、児童生徒の実態や指導内容、さらに指導者の構想や意図により、様々に工夫しましょう。



#### ここがポイント！

- 学習指導案は、学校の共通財産ともいえるべきものであり、だれが見ても分かるように形式や記述を工夫し、学校として蓄積していくことが大切です。
- 学習指導過程は、一般的には導入，展開，終末の段階を設定しますが、固定化，形式化することなく、弾力的に扱うなどの工夫も必要です。

＜「主体的な学び」を目指した学習指導過程例＞

<p>導入</p>	<p>主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図る段階</p>	<p><b>導入の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見通しをもって主体的に考え、学ぶことができるようにする。</li> <li>・主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、問題意識をもたせるように工夫する。</li> </ul>
<p>展開</p>	<p>ねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって、児童生徒一人一人がねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる段階</p>	<p><b>展開の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の考えと比べ自分の考えを深める展開となるようにする。</li> <li>○教材や生活体験などを生かしながら、一定の道徳的価値に関わる物事を多面的・多角的に捉えることができるようにする。</li> <li>・発問を工夫する。(例：児童生徒の考えの根拠を問う発問や問題場面を自分に当てはめて考えてみることを促す発問など)</li> <li>・一人一人が意欲的で主体的に取り組むことができる表現活動や話し合い活動を仕組む。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、今後の発展につなぐ段階</p>	<p><b>終末の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主題を自分との関わりで捉え自己を見つめ直し、発展させていくことへの希望がもてるようにする。</li> <li>・学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめるための具体的な振り返り活動を工夫する。</li> <li>・必要に応じて、授業開始時と終了時における考えがどのように変容したのかが分かるような活動を工夫する。</li> </ul>

道徳科における「主体的な学び」とは、教材に込められた道徳的価値を観念的・一面的に理解させるのではなく、児童生徒がねらいとする道徳的価値について課題意識をもち、自分の生活を見つめながら他者と議論することで、道徳的価値の理解を深め、自己の生き方について考えを深める学習です。さらに、理解した道徳的価値から自分の生活を振り返り自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付け、その結果を日常生活の行動や習慣に結びつけたりしていくことです。

「ねらい」「内容」「方法」の一体化が重要です。次のポイントを踏まえた指導を行いましょう。



**ここがポイント！**

- まず、ねらいとする道徳的価値についての児童生徒のこれまでの学習状況や実態をしっかり把握し、それを基に、学習指導要領を踏まえ、この時間にどういった学習活動を通して、何をねらうのかを明確化・具体化します。
- 次に、教材に対する児童生徒の感じ方や考え方を分析し、児童生徒がどのような問題意識をもって学習に臨み、ねらいとする道徳的価値を理解し、自己を見つめ、多様な感じ方や考え方によって学び合うことができるのかを具体的に予想しながら、それらが効果的になされるための発問や授業全体の展開など、学習指導過程を考えます。
- その際には、児童生徒が道徳的な問題を自分事として捉え、議論し、探究する過程を重視し、道徳的価値に関わる自分の考え方、感じ方をより深めるようにするために、児童生徒の実態やねらいに応じた適切な指導方法を工夫する必要があります。

<道徳科の学習指導案（例）>

道徳科学習指導案

指導者

- 1 日時 令和 年 月 日（ ） 第 校時  
2 学級 第○学年 ○組 男子○名 女子○名 計○○名  
3 主題名 「勤労の喜び」（C（13）勤労）

主題名は、そのまま児童生徒に提示する必要はないものであるから、主題のねらいが捉えやすいように表現を工夫するとともに、できるだけ簡潔な表現にする。

- 4 ねらい 「～（主人公の気持ちを考える，行動を考えること）を通して，○○に気付き，○○する道徳的判断力（道徳的心情，道徳の実践意欲と態度）を育てる。」

教材の特質を生かし，道徳的な判断力，心情，実践意欲や態度を育成する視点や主題を児童生徒の実態に結び付けて考え，具体的に記述する。

- 5 教材名 「○○○」（出典）＊出典を明らかに

- ・自作の場合は（自作資料），改作した場合は（一部改作）と明記する。
- ・私たちの道徳や補助教材の活用があれば付記する。

6 主題設定の理由

- 主題観・価値観（ねらいや指導内容についての教員の捉え方）

- ・本時に取り上げる内容項目について，学習指導要領解説特別の教科道徳編に即しながら，自分なりの捉え
- ・ねらいを設定した理由やその時期に設定した理由，ねらいに込める指導者の願い
- ・社会から要請されている今日的課題 などを記述する。

- 児童生徒観（児童生徒の学習状況や実態と教員の願い）

- ・ねらいに関連する児童生徒の実態（よい点，課題となる点）
- ・ねらいに関わる実態調査の結果，ねらいの必要性
- ・児童生徒に何をどのように期待するのか などを記述する。

- 教材観・指導観（使用する教材の特質や取り上げた意図）

- ・教材の特質や取り上げた意図
- ・児童生徒の実態と関わらせた教材を生かす具体的な活用方法
- ・主題観・価値観，児童生徒観を踏まえ，どの様に授業を展開していくか，指導の方策
- ・指導体制，学習形態，学習活動の工夫 などを記述する。

7 他の教育活動などとの関わり

本時の学習を生かすための事前や事後の指導の工夫などを記述する。

- ・各教科等との関連
- ・体験活動や日常的な指導との関連
- ・家庭や地域との連携 など

8 学習指導過程

（P53 を参照）

9 板書計画

（P54 を参照）

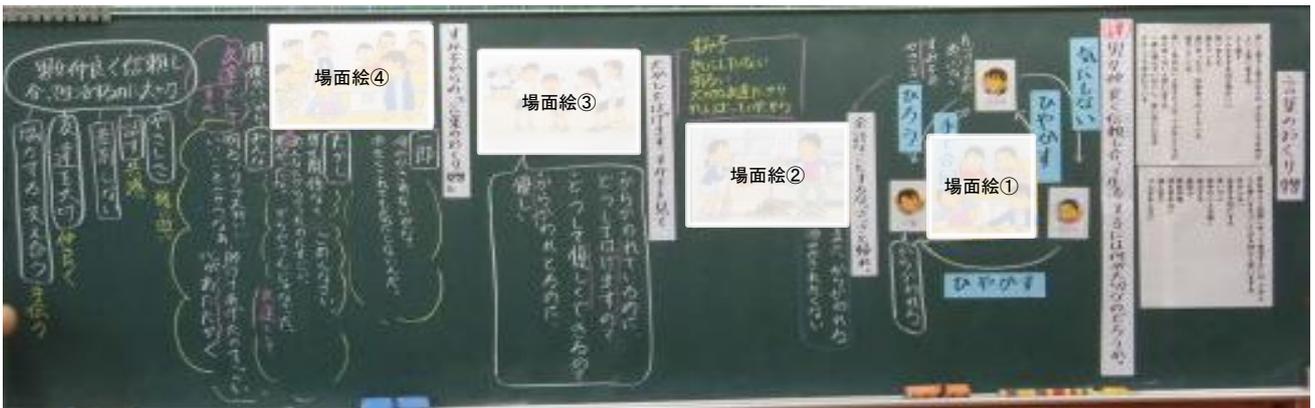
ねらいにかかわって，指導の意図や教材の内容，児童生徒の感じ方や考え方の違いなどを視覚的に整理して生かすための工夫を検討する。

8 学習指導過程

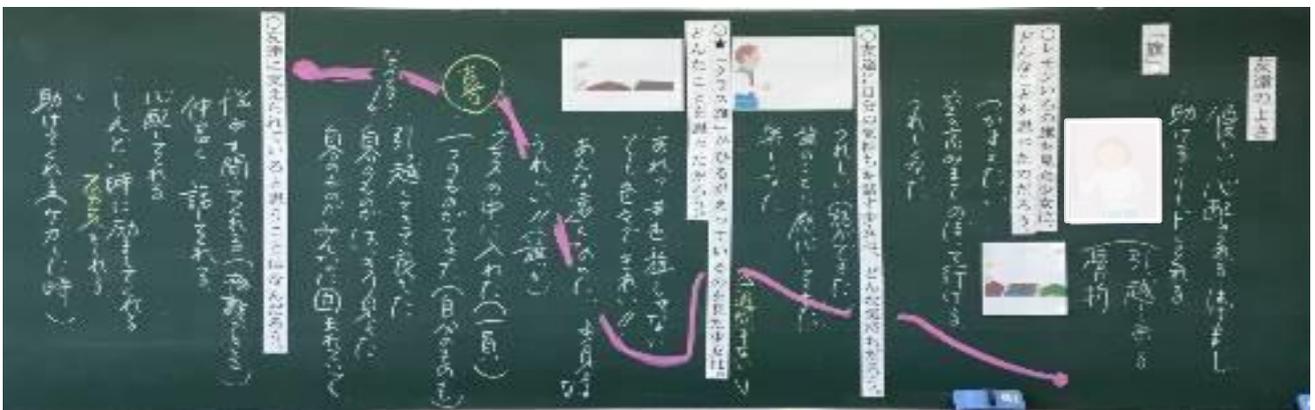
段階	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 課題意識を持つ。  (ねらいとする価値に気付く。)	○ これまでに～したことはありませんか。 ・ ……………。 ・ ……………。 ○ 今日は、～について考えていきましょう。  * 見通しを持って主体的に考え、学ぶことができるように工夫する。	○ ～を提示し、本時の主題への関心・意欲を高め、課題意識をもたせる。 ・ アンケート結果の提示 ・ 絵や写真、実物の提示 等
展開前段	2 教材「□□」を読んで、話し合う。 (1)～の時の、△△の気持ちを考える。  (2)～の時の、▲▲の気持ちを考える。  (3)△△が、～した時の理由を考える。  (4)△△のしたことについて考える。  (教材や生活体験などを生かしながら、ねらいとする価値を多面的・多角的に捉え、追求・把握する。)	○ △△(主人公)は、どんな気持ちで～したのでしょうか。 ・ ……………。 ・ ……………。 ○ ▲▲(他の登場人物)は、△△のことを、どう思ったでしょう。 ・ ……………。 ・ ……………。 ◎ △△は、どんな考えで～したのでしょうか。 ・ ……………。 ・ ……………。 中心発問が分かるようにする。  ○ △△のしたことをどう思いますか。どうすべきだったのでしょうか。 ・ ……………。 ・ ……………。 予想される児童生徒の発言を類型化して記述する。  * 児童生徒の実態と教材の特質を押さえた発問構成を工夫する。 * 他者の考えと比べ自分の考えを深めるような展開となるようにする。 * 一人一人が意欲的で主体的に取り組むことができるよう表現活動や話し合い活動を仕組む。	○ 場面絵やキーワードを提示することで、教材の内容を把握しやすくする。 ・ スライド、紙人形等の活用 ・ 繰り返し提示、部分提示 ・ 場面絵の提示 等  ○ ワークシートを活用することで、自分の考えをまとめさせる。  ○ グループ活動を取り入れ、多様な考え方に触れることで、自分の考えを検討し、本時のねらいへ迫らせる。 ・ 書く活動 ・ 役割演技、動作化 ・ ネームプレートの活用 ・ グループでの話し合い 等  左の各段階の学習活動に対応して、ねらいに迫るための具体的な手立てを記述する。 ※ ～するために…する。 ※ …することにより、～させる。 ※ ○○な児童生徒には、…する。 ※ ○○については、…を伝えて揺さぶる。
展開後段	3 今までの自分を振り返る。  (自分の生活を振り返り、現在の自分の価値観に気付く。)	○ 今まで～したことはありませんか。どんな気持ちでしたか。 ・ ……………。 ・ ……………。 * 体験を通して感じたことや考えたこと、また日常の具体的な事柄を話題にするなど、教材に描かれた道徳的価値を自分の問題として受け止めて、深く自己を見つめることが可能になるよう発問を工夫する。	○ 写真を提示し、▲▲体験活動をした時の気持ちを想起することで、自分の生活を振り返らせる。  ・ 共通体験の想起 ・ 写真やVTRの提示 ・ 私たちの道徳 ・ 書く活動 等
終末	4 本時のまとめをする。  どんなことを感じて欲しいか、児童生徒の言葉として記述する。  5 私たちの道徳p○を聞く。  (学習の整理・まとめをする。)	○ 今日の学習や自分自身を振り返って、考えたことを書きましょう。  児童生徒のまとめ例 私は、……………。  ○ 今日の勉強で思ったことを浮かべながら、私たちの道徳○ページを聞きましょう。  指導のねらいとの関わりにおいて児童生徒の心の動きの変化などを様々な方法で捉え、指導方法の改善に生かす。	○ 自分のこれまでの生活と重ねて考えさせることで、考えの深まりを自覚させ、自分の生き方につなげさせる。 ☆ ～することの大切さに気付くことができる。(発言、ワークシート) ○ 私たちの道徳を読むことで、本時のねらいとする道徳的価値への実践意欲を高める。 ・ 教員の説話 ・GTの活用 ・ ことわざ、格言 ・ 写真やVTRの提示 等

<板書例>

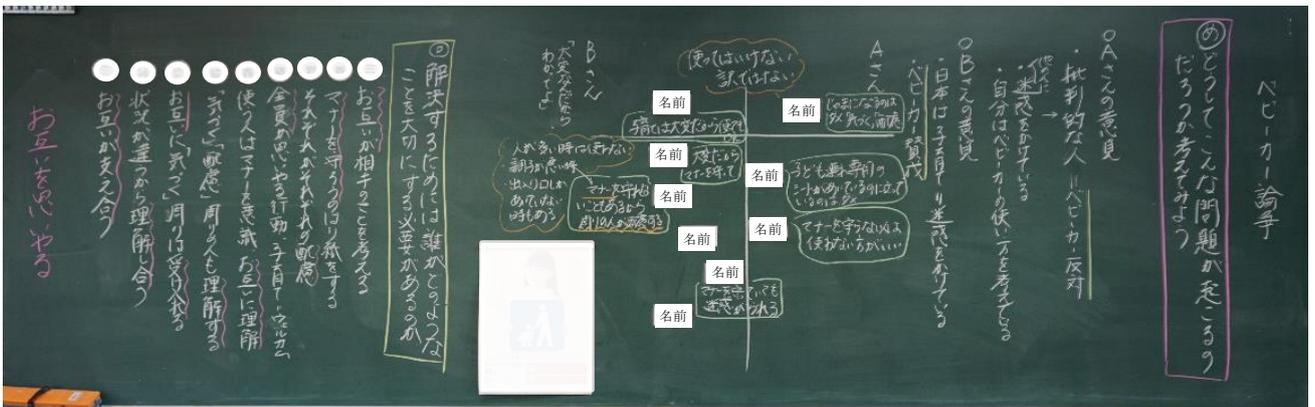
- 場面絵や短冊を活用し、考える視点を明確にする



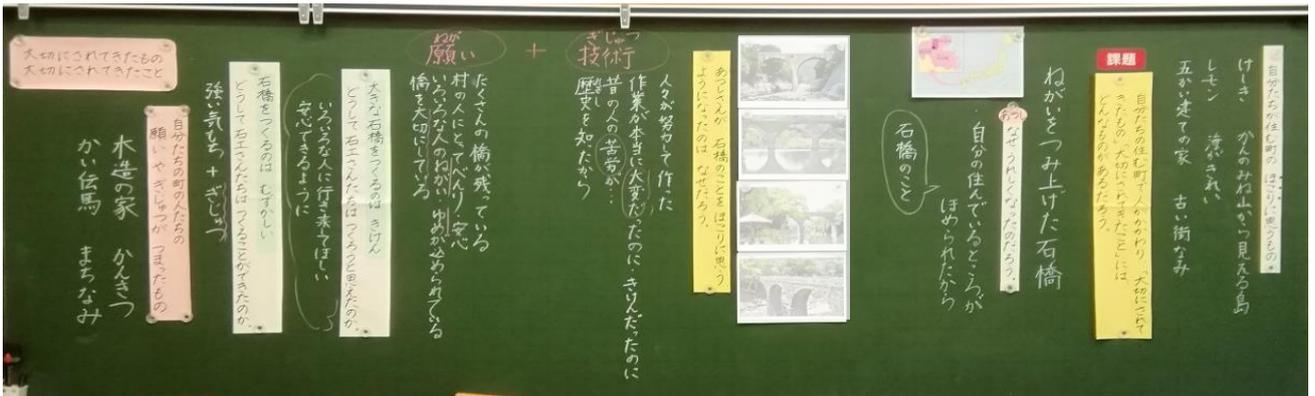
- 心情曲線やキーワードを活用し、考えたことを整理する



- ネームプレート等を活用し、個々の考えを可視化することで話しを深める



- 学習課題を掲示し、主体的な学習を促す



#### ④ 学習指導案の検討

学習指導案の検討を通して、授業者本人が授業に対する意図を明確にするとともに、参観者の授業を参観する視点を明確にすることができます。

##### <学習指導案の検討内容>

- 学習指導要領を正しく理解し、ねらいを設定しているか。
- 学校教育目標、研究主題を踏まえているか。
- 教材分析は適切か。
- 指導方法は効果的か、工夫改善は見られるか。
- 本時のねらい、学習展開、時間配分等は適切か。
- 評価の観点、評価方法等が作成されており、なおかつ適切か。
- ねらいが十分に達成できていない児童生徒に対する手立てが明確になっているか。 等

##### ここがポイント！

- 授業者は、検討してほしい課題や助言を求める点を明確にしておきましょう。
- 授業者は、検討する学習指導案を事前に配付し、特に検討を要する点については、項目をあげて分かりやすくしておきましょう。
- 研究主任は、場合によっては、会議室等に集まらなくても、参加者の意見が集約できるような方法を考えましょう。(例：回覧、メール、電子アンケートなど)
- 参加者は、事前に資料とねらいから中心発問を考えるなど課題をもつてのぞみましょう。

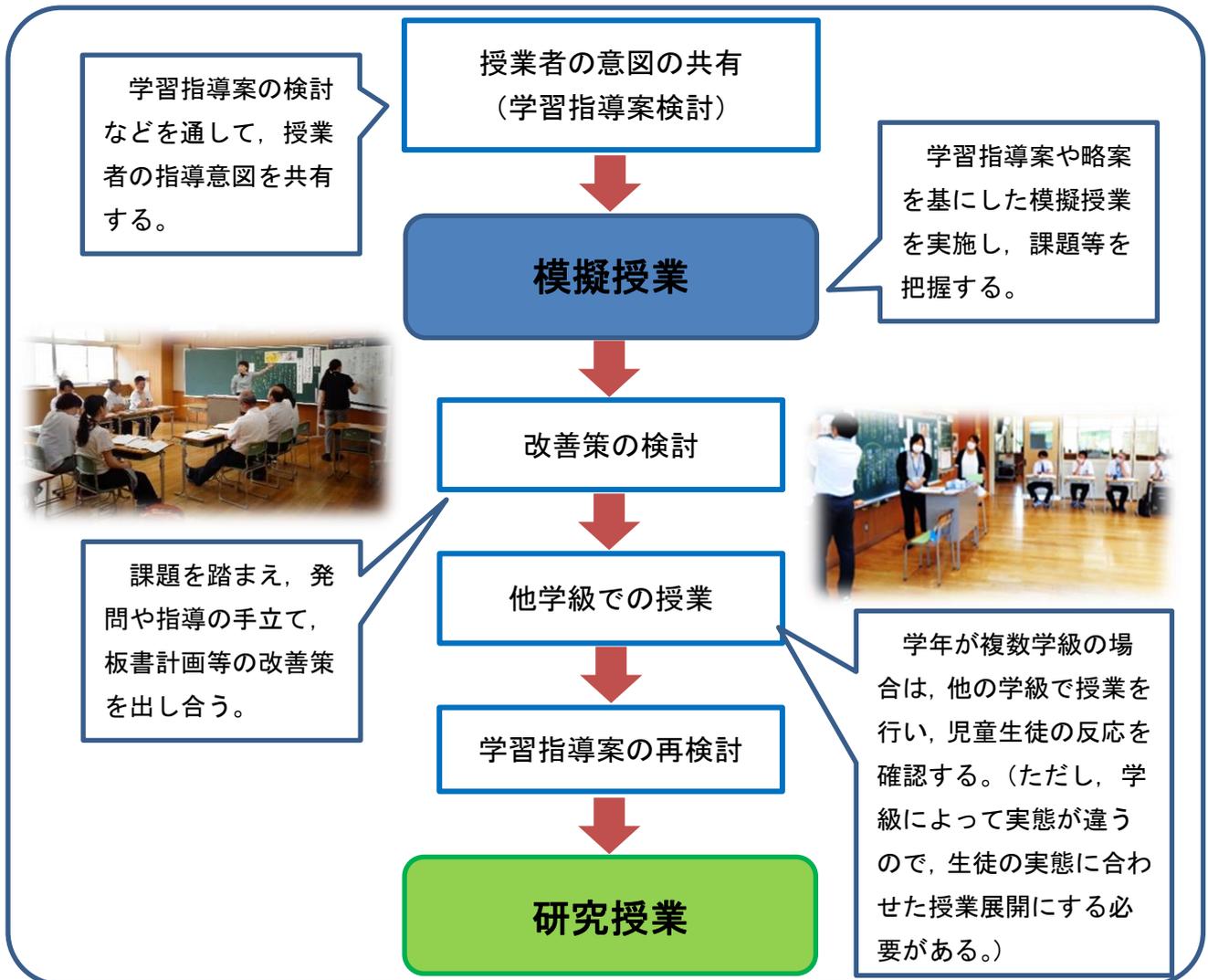
#### ⑤ 模擬授業

学習指導案の改善点を探る方法の一つとして、模擬授業があります。模擬授業を行うことで、事前に学習指導案の問題点を具体的に把握し、課題を修正することによってより質の高い授業につなげることができます。また、模擬授業により、事後の研究協議会の柱を明らかにすることができ、協議内容の深まりにもつなげることができます。

##### <模擬授業の方法例>

- 授業者が、検討会参加者を児童生徒と見立てて授業を行う。
- 検討会参加者の一人が授業者となり、他の参加者を児童生徒と見立てて授業を行う。

【模擬授業を取り入れた研究授業までの流れ（例）】



1時間の全てを模擬授業するのではなく、展開部分の発問構成や指導の手立てなど、部分的な実施も考えられます。

模擬授業の実施により、「授業者だけの授業」という意識から「みんなの授業」という意識をもつことができます。

模擬授業の際、教授や指導主事を招聘し、学校全体で教材研究をすることで、研究授業と協議の質を高めることができます。



ここがポイント！

- 児童生徒役の教員は、想定される反応を考えながら、児童生徒になりきって行いましょう。
- 第三者の立場で、客観的に参加する役も必要です。
- 模擬授業後に協議をする際は、指導者が悩んでいる点を伝えると同時に、価値の深まりはどうか、主題に迫る深い学びになっているかに留意して協議を行い、改善策を考えましょう。



## (2) 授業研究をしよう！

授業を参観することで、児童生徒の様子や学級全体の雰囲気と共有した上で研究を深めることができます。授業研究を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、授業改善に結び付けていくことが大切です。

### <授業者の留意点>

- 計画した授業内容を念頭に置きながら、児童生徒の反応に対して柔軟に授業を展開しましょう。
- 個に応じた指導となるよう、児童生徒の意見や質問、つぶやきを大切に、授業展開に生かしましょう。
- 授業を振り返り、成果と課題を明確にしておきましょう。

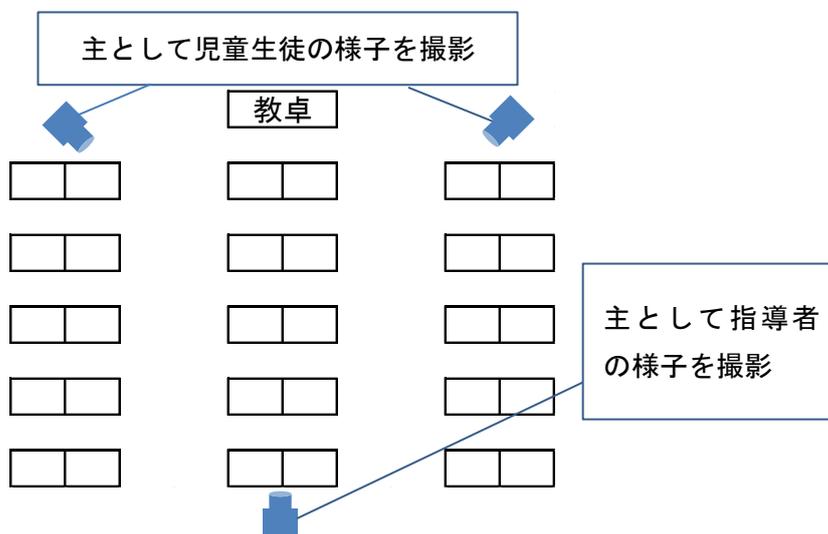
### <参観者の留意点>

- 事前に示された研究協議の視点を踏まえて授業を観察しましょう。
- 役割を分担して必要な記録を取りましょう。

例：授業記録、ビデオ、板書、教員の発問・声掛け、児童生徒の反応等

## ① ビデオ記録の活用

教室の後方に固定カメラを1台設置して、授業全体の様子を撮影するだけでなく、前方からの固定カメラや移動カメラで撮影することで、児童生徒の様子や表情をとらえることができます。



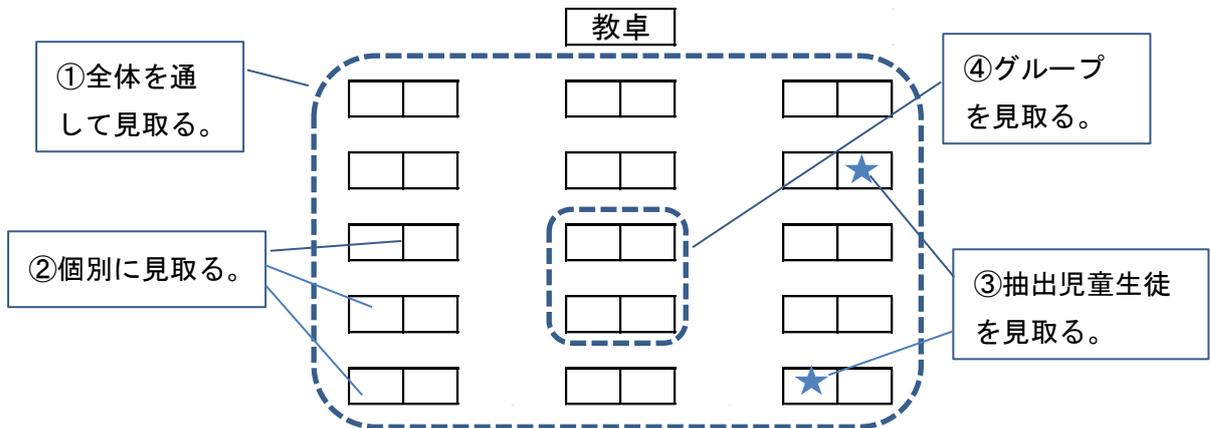
### <ビデオ記録活用の利点>

- 授業のねらい等を具体的に説明したい場面で、ビデオを停止させて説明ができるので、授業者の意図が伝わりやすいです。
- 何度でも再生できるので、授業分析を深めることができます。
- 限定した場面を全員で見ることにより、協議が焦点化できます。
- 授業中には気付かなかったことや見過ごしたことなど、多角的に検討できます。
- 協議会を受けて、授業者が再度視聴することにより、振り返りを深めることができます。

## ② 授業記録用紙の活用

授業記録用紙は、あらかじめ用意された項目にしたがって、指導者と児童生徒の関わりや児童生徒の学びの様子を時系列に記録し、変化を見取ることができます。全体の印象と個々の事実との関係についてしっかり協議していくことが、検証の場面で大切になります。

### <参観者による児童生徒の見取の例>

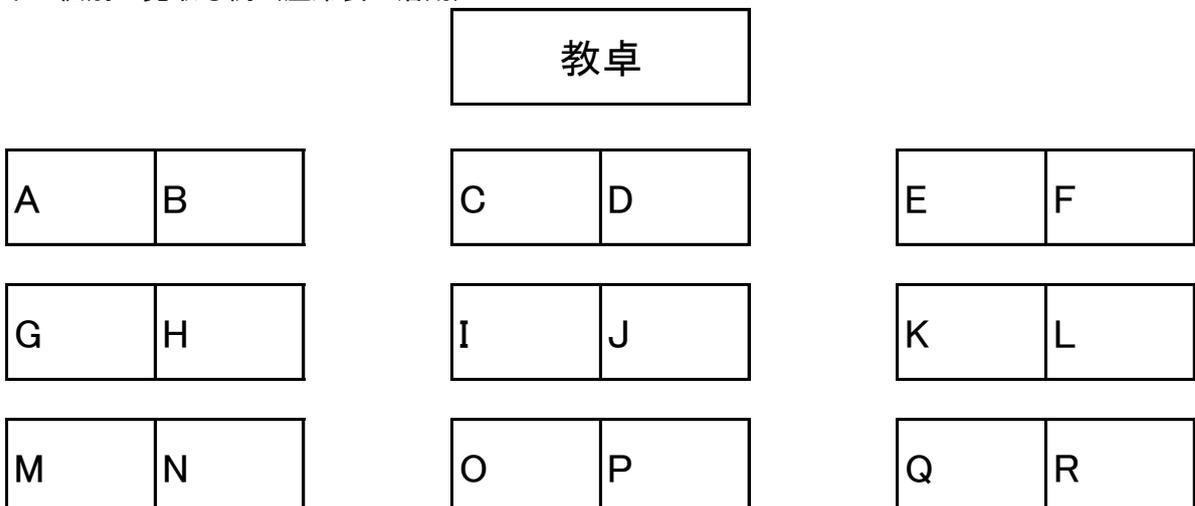


### <記録用紙の活用例>

#### ア 全体を通して見取る例

時刻	指導者の発問・指示・板書・支援等の様子	児童生徒の発言・活動等の様子	その他

#### イ 個別に見取る例（座席表の活用）



ウ 抽出した児童生徒を見取る例

- 全体を見ながら抽出した児童生徒を見取る

時刻	指導者・児童生徒の発言	観察対象の児童生徒	
		A	B

- 抽出した児童生徒を集中的に見取る

時刻	観察場面	指導者の関わり	抽出児童生徒の姿	観察者の所見

エ グループを見取る例

担当（1）班

A児	B児	班員との関わり
C児	D児	

研究テーマに合った記録用紙を工夫してみましょう。



### (3) 事後研究をしよう！

#### ① 研究協議会

研究協議会においては、授業の結果をもとに協議し、授業の成果や課題を明確にする過程を通して、参加者全員の授業の質を高めていくことが大切です。

#### <研究協議会を充実させるためのポイント>

##### その1 「研究協議の視点」の明確化

研究協議の視点が全員に明確になるようにしましょう。また、授業参観では、その視点に基づいて協議できるようにするために、研究協議の視点を踏まえ、参観しておきましょう。

##### その2 授業者からの振り返り

授業者からの授業の振り返りや課題の提示は、具体的かつ明確にしましょう。授業者は、研究協議の視点に即して課題等を具体的に述べましょう。

##### その3 客観的な情報の必要性

ビデオによる記録、発問記録、板書記録等、授業についての客観的な記録をもとに協議しましょう。また、研修部等は、研究協議の視点にかかわる研修資料を準備しましょう。

##### その4 研究協議会への主体的、積極的な参加の必要性

研究協議会の参加者は事実に基づいた具体的な発言を行いましょう。抽象的な発言に終始しては、効果が高められません。また、参加者は協議を深めることにおいて同じ立場に立っていることを自覚し、積極的に発言するとともに、課題と思われる点について授業者や他の参加者に遠慮することなく発言しましょう。

##### その5 司会者の役割の重要性

研究協議を深めるためには、司会者の役割が重要です。司会者は、問題を整理し、協議の視点に沿って進行するよう工夫しましょう。指導・助言者を招聘した場合には、指導・助言の時間を適切に取ることができるよう時間配分に留意しましょう。

##### その6 「改善計画」の明確化

研究協議会のまとめでは、次の授業提案に向けての課題、改善すべき点等、次へのステップは何かを明確にし、確認し合ひましょう。

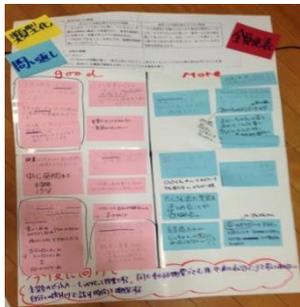
##### その7 中学校や高等学校の研究協議会の活性化

担当教科が違うからこそ、授業を参観する視点も多様化し、協議が深まるというメリットがあります。また、道徳科では、指導方法の工夫改善等、教科が違っていても共通の協議の視点も設定できるという良さを生かしましょう。

＜研究協議会（90分程度）の進行例＞

時間	内容	詳細	ポイント
3分	進め方の説明	研究協議の目的, 流れ, 時間設定等の説明をする。	事前に研究協議の視点や進行表を配布し, 共通理解を図っておく。
5分	授業意図等の説明および質疑	授業者が次のような視点で説明する。 ・配慮したこと ・授業の成果と課題 ・意見や助言をもらいたいこと 参加者からの質問を受ける。	授業者は, 授業後に, 説明することをまとめておく。 参加者は, 意見は出さず, 質問のみ行う。
30~40分	グループ協議	グループで授業を分析し, 成果と課題, 改善策を明確にする。	付箋紙等を活用し, ワークシートにまとめる。 課題についての改善策を考える。
10~15分	全体発表	各グループの代表者が成果や課題, 改善策を簡潔に発表する。	他のグループと重複する内容は割愛する。
10分	改善策等の共有化	グループ発表で出された意見を整理し, 課題を改善するために取組むことを共有化する。	研究主任や進行役が, 成果と課題をまとめ今後の方向性を共有化する。 いつまでに何を行うか明確にする。
15~20分	指導助言	外部講師や管理職から指導助言を受ける。	外部講師がいない場合は, 管理職等がまとめを行う。
10分	振り返り	各自のこれまでの実践を振り返り, 自分の授業改善を考える。	明日からの授業実践につなげるために, 一文発表や一文宣言を行う。
協議後	授業者へのメッセージ	授業者へメッセージを送る。	授業者が研究授業をやって良かったと思えるように, 授業からの学び等, 肯定的なメッセージや意見を送る。

＜効果的な研究協議会例＞

グループ協議	ワークシートへのまとめ	全体発表	振り返り
			
付箋を貼付けながら成果や課題をグループで整理する。	成果と課題を明確にしたワークシートを作成する。	全体で意見交流を行い, 改善策を共有化する。	協議を受けて, 授業者が「明日からの取組」を発表する。

## ② ワークショップ型の研究協議

参加者全員が主体的に参加し、成果や課題を明確にして、改善策の共通理解を図りながら協議を深めていくために、ワークショップを取り入れた研究協議を実施していくことが効果的です。協議の目的に応じて、ワークシートを工夫し、協議の効率化を図りましょう。

### ア 指導案拡大法（学習指導案に沿って分析できるワークシート）

	学習活動	主な発問と児童生徒の心の動き	指導上の留意点
導入	1 ○○○ 		○ ……
展開	2 ○○○  3 ○○○ 		○ …… ◇ ……
終末	4 ○○○ 		○ …… 

**【特徴】**

- 拡大学習指導案の学習指導過程に、直接付箋紙を貼付ける。
- 学習指導案と実際の授業を対比しながら進めることができる。

**【留意点】**

- 意見が出やすい反面、焦点化するのに時間がかかる、視点を明確にして記入すると効率的である。

### イ 時系列法（指導と児童生徒の様子を時系列で分析できるワークシート）

	導入	展開	終末
成果			
課題			
改善策			

**【特徴】**

- 指導の過程に即しているので、初めてでも付箋紙を貼付けやすい。
- 成果と課題に分けて貼付けるので、成果や課題が明確になる。
- 改善すべき点、次へのステップが何かを明確にすることができる。

**【留意点】**

- 体験活動など、他の教育活動との関連まで視点が広がりにくいことに留意する必要がある。

### ウ マトリクス法（協議の視点に沿って分析できるワークシート）

	視点 1	視点 2	視点 3
成果			
課題			
改善策			

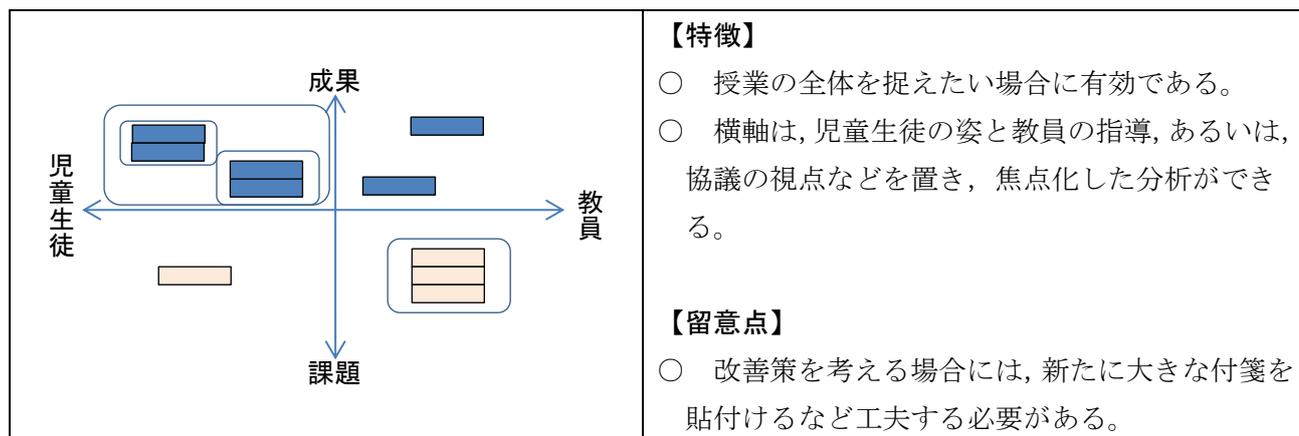
**【特徴】**

- 事前に協議の視点を定めておき、その視点について成果と課題、改善策が協議できる。
- 全員で改善策まで考えるので共有化が図られ、今後の実践につながりやすい。

**【留意点】**

- 同じ内容に対して評価が分かれる場合、付箋紙の置き方を工夫すると効率的である。

## エ 座標軸法（児童生徒と教員の視点から分析できるワークシート）



これらのシートを活用することで、授業を視覚的に構造化して分析することができます。

また、授業の欠点を指摘するのではなく、授業者の立場に立って授業を改善するにはどうすることが望ましいか、お互いに意見を出し合ひましょう。



### ここがポイント！

- 研究協議では、発表しやすい雰囲気づくりをしましょう。
- ワークシートを効果的に活用しましょう。
- 今後の方向性を明確にし、全員が共通認識をもって取り組めるようにしましょう。
- 研究協議のまとめを発行しましょう。

### ③ 授業評価

授業評価表を作成し、利用することにより、授業全体をバランスよく評価でき、問題点を明らかにすることができます。

### ここがポイント！

- 評価項目に、授業者が希望する視点なども入れてみましょう。
- 授業者も自己評価を行い、参観者の評価と比べることで、より具体的な授業改善に生かしましょう。
- 研究内容などを踏まえ、評価項目を設定し、研究協議の焦点を絞り、協議を活性化しましょう。

<授業評価表例>

**研究授業参観の視点**

小・中 ( ) 年 道徳の時間 月 日 記入者 ( )

1. あてはまる数字に○をしてください。 とても まままあ あまり まったく

資料について				
①児童生徒の心に響く資料だった。	4	3	2	1
発問について				
②中心発問はねらいに迫るものだった。	4	3	2	1
③中心発問で活発な議論を呼ぶことができた。	4	3	2	1
④補助発問は児童生徒の心を揺さぶることができていた。	4	3	2	1
授業展開について				
⑤本時の内容に適した導入だった。	4	3	2	1
⑥思考の流れやつながりが分かる構造的な板書だった。	4	3	2	1
⑦机間指導が目的を持って機能していた。	4	3	2	1
⑧児童生徒の発表は効果的なタイミングで行われていた。	4	3	2	1
⑨終末は、価値を心にとどめるために適切なものであった。	4	3	2	1
⑩T Tの授業は効果的なものだった。	4	3	2	1



研究主題をもとに、授業評価の観点を吟味して、評価表を作成しましょう。

⑪本時のねらいを達成することができた。

**自分とのかかわり**

⑫自分を見つめさせる手だてがあった。

**友達とのかかわり**

⑬自分の思いを伝えることができていた。

⑭相手の思いを聞いて、考えを深めることができていた。

2. 授業について、意見、感想、励まし、改善策（ア）



**授業参観シート**

小・中 ( 1 ) 年 道徳の時間 9月 17日 記入者 ( )  
 ◆教材名：人のフリミで  
 ◆主題名：言葉のもつ不思議な力

**Before**

- ・感謝の気持ちをもつことは大切だと思っはいるが、伝えられない。
- ・自分の家族や友達、学校の先生には「ありがとう」と言っている。(対象が限られている)

**授業中の評価計画**

児童生徒を評価する視点	期待する児童生徒の発言や記述の内容	評価 ◎, ○, △	コメント
① 自分自身との関わり (ア) 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて、「自分だったらどう感じるかな。」と考えている。 (発表での発言)	展開前段 ・気持ちいい。 ・爽やかな気持ち。 ・感じがいい。		
② 多面的・多角的な見方 (オ) 「ありがとう」の言葉が持つ不思議な力について、様々な視点からよりよい考えを見つけようとしている。(多面的) (考えを交流している場面での発言)	展開後段 ・自分も相手も気持ちがよくなる力。 ・周りで聞いている人も温かい気持ちにさせる力。 ・安心する力。 ・人と人とのつながりを作る力。 ・日々の生活に感謝する心を育てる力。		
③ 自分自身との関わり (イ) 学校や家でしか「ありがとう」を言えてなかったけど、これからは他の場所でも「ありがとう」を言える場面を探してみよう、と考えている。 (ワークシートの記述、発表での発言)	終末 ・お母さん、毎日ご飯を作ってくれてありがとう。 ・バスの運転手さん、いつも安全運転で、私たちが学校へ連れてきてくれてありがとう。 ・給食センターの皆さん、毎日おいしい給食をありがとう。		

**After**

- ・「ありがとう」という言葉には人を気持ちよくさせる力があると分かったので、毎日使っていこうと思う。
- ・自分とは直接関わっていないようにみえても、生活をよくするために支えてくれる人はたくさんいる。それを当たり前と思わず、感謝する気持ちを持ち、感謝の言葉を伝えていきたい。

成果や課題だけではなく、改善策も考えましょう。また、感想や励ましの言葉なども添えるようにしましょう。



# 児童生徒の道徳性を見取りについて、共通理解を進めるための工夫の例

## ■授業の中での見取り

### (1) 授業中の評価計画の作成

4 期待する児童生徒の変容

Before

- 感謝の気持ちをもつことは大切だと思っているが、伝えられない。
- 自分の家族や友達、学校の先生には「ありがとう」と言っている。(感謝の対象がせまい)

授業中の評価計画

評価の視点	期待する児童生徒の発言や記述の内容
① 自分自身との関わり (ア) 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて、「自分だったらどう感じるかな」と考えている。(発表での発言)	展開前段 ・気持ちいい。 ・爽やかな気持ち。 ・感じがいい。
② 多面的・多角的な見方 (オ) 「ありがとう」の言葉が持つ不思議な力について、様々な視点からより考えを見つつけようとしている。(多面的) (考えを交流している場面での発言)	展開後段 ・自分も相手も気持ちよくなる力。 ・周りに聞いている人も温かい気持ちにさせる力。 ・安心する力。 ・人と人とのつながりを作る力。
③ 自分自身との関わり (イ) 学校や家で「ありがとう」を言えてなかったけど、これからは他の場所でも「ありがとう」を言える場面を探してみよう、と考えている。(ワークシートの記述、発表での発言)	終末 ・お母さん、毎日ご飯を作ってくれてありがとう。 ・バスの運転手さん、いつも安全運転で、私たちを学校へ連れてきてくれてありがとう。 ・給食センターの皆さん、毎日おいしい給食をありがとう。

After

- 「ありがとう」と言う言葉には人を気持ちよくさせる力があると分かったので、毎日使っていこうと思う。
- 自分とは直接関わっていないようにみえても、生活をよくするために支えてくれている人はたくさんいる。それを当たり前と思わず、感謝する気持ちをもた、感謝の言葉を伝えていきたい。(感謝の対象の広がり)

### (2) 授業参観シートの作成と活用

授業参観シート

小・中 (1) 年 道徳の時間 9月 17日 記入者( )

- ◆教材名: 人のフリみて
- ◆主題名: 言葉のもつ不思議な力

Before

- 感謝の気持ちをもつことは大切だと思っているが、伝えられない。
- 自分の家族や友達、学校の先生には「ありがとう」と言っている。(感謝の対象がせまい)

授業中の評価計画

児童生徒を評価する視点	期待する児童生徒の発言や記述の内容	評価 ◎, ○, △	コメント
① 自分自身との関わり (ア) 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて、「自分だったらどう感じるかな」と考えている。(発表での発言)	展開前段 ・気持ちいい。 ・爽やかな気持ち。 ・感じがいい。		
② 多面的・多角的な見方 (オ) 「ありがとう」の言葉が持つ不思議な力について、様々な視点からより考えを見つつけようとしている。(多面的) (考えを交流している場面での発言)	展開後段 ・自分も相手も気持ちよくなる力。 ・周りに聞いている人も温かい気持ちにさせる力。 ・安心する力。 ・人と人とのつながりを作る力。		
③ 自分自身との関わり (イ) 学校や家で「ありがとう」を言えてなかったけど、これからは他の場所でも「ありがとう」を言える場面を探してみよう、と考えている。(ワークシートの記述、発表での発言)	終末 ・お母さん、毎日ご飯を作ってくれてありがとう。 ・バスの運転手さん、いつも安全運転で、私たちを学校へ連れてきてくれてありがとう。 ・給食センターの皆さん、毎日おいしい給食をありがとう。		

After

- 「ありがとう」という言葉には人を気持ちよくさせる力があると分かったので、毎日使っていこうと思う。
- 自分とは直接関わっていないようにみえても、生活をよくするために支えてくれている人はたくさんいる。それを当たり前と思わず、感謝する気持ちをもた、感謝の言葉を伝えていきたい。(感謝の対象の広がり)

期待する児童生徒の発言や記述内容の想定

授業参観者による記録

先生方の記録をもとに自身の授業を振り返ってみよう



評価の視点	期待する児童生徒の発言や記述の内容	評価 ◎, ○, △	コメント
① 自分自身との関わり (ア) 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて、「自分だったらどう感じるかな」と考えている。(発表での発言)	展開前段 ・気持ちいい。 ・爽やかな気持ち。 ・感じがいい。	◎	「ありがとう」の言葉が持つ不思議な力について、様々な視点からより考えを見つつけようとしている。(多面的) (考えを交流している場面での発言)
② 多面的・多角的な見方 (オ) 「ありがとう」の言葉が持つ不思議な力について、様々な視点からより考えを見つつけようとしている。(多面的) (考えを交流している場面での発言)	展開後段 ・自分も相手も気持ちよくなる力。 ・周りに聞いている人も温かい気持ちにさせる力。 ・安心する力。 ・人と人とのつながりを作る力。	◎	自分も相手も気持ちよくなる力。 ・周りに聞いている人も温かい気持ちにさせる力。 ・安心する力。 ・人と人とのつながりを作る力。
③ 自分自身との関わり (イ) 学校や家で「ありがとう」を言えてなかったけど、これからは他の場所でも「ありがとう」を言える場面を探してみよう、と考えている。(ワークシートの記述、発表での発言)	終末 ・お母さん、毎日ご飯を作ってくれてありがとう。 ・バスの運転手さん、いつも安全運転で、私たちを学校へ連れてきてくれてありがとう。 ・給食センターの皆さん、毎日おいしい給食をありがとう。	◎	お母さん、毎日ご飯を作ってくれてありがとう。 ・バスの運転手さん、いつも安全運転で、私たちを学校へ連れてきてくれてありがとう。 ・給食センターの皆さん、毎日おいしい給食をありがとう。

### ○ 取組の意図

- ・授業参観者に、児童生徒の学習状況で見取る視点を共通理解してもらう。
- ・授業後の研究協議の時間が取れなくても、授業者が、授業参観者からのコメント、評価をもとに、成果と課題を振り返ることで、授業改善を進めることができるようになる。

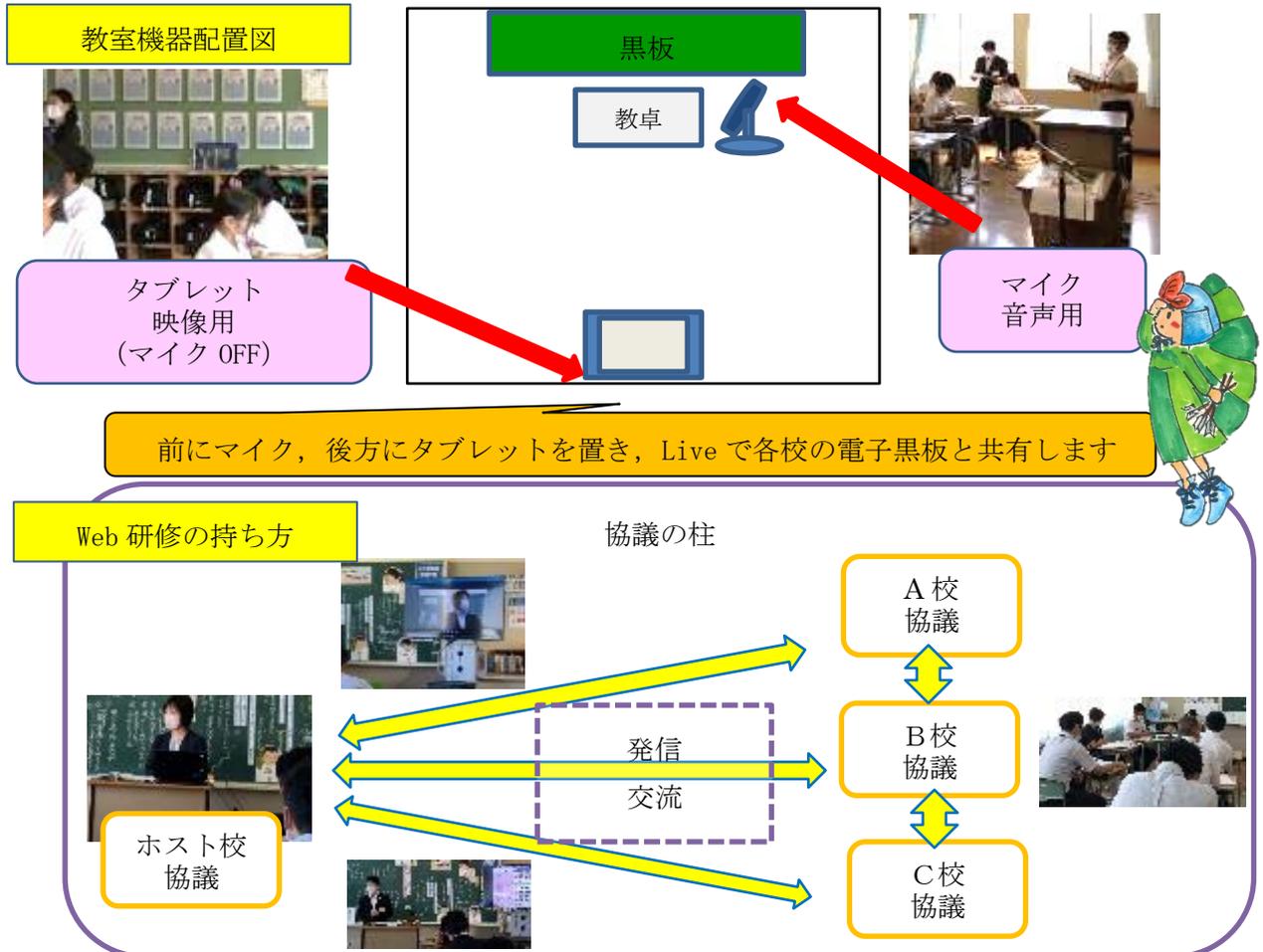
### ○ 取組のポイント

- ・複数の授業参観者からのコメント、評価をもとに、その共通点や相違点について道徳教育推進教師と意見交換をしましょう。次の授業ですぐに生かせる改善点を見つけ出し、授業改善のPDCAサイクルを回すことが大切です。

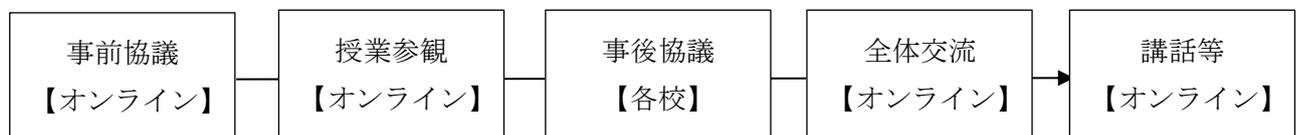
#### ④ オンラインによる授業研究

##### web 会議システムを活用したオンラインによる中学校区合同の授業研究会の例

ネットワークの環境設備の充実に伴い、Web 会議が容易にできるようになりました。Web 会議は、多数の人が異なる場所から参加できるようになります。研究授業を Web 配信することで、参観した人から指摘を受けたり、学校外部の人の評価を得たりすることができます。



##### 【授業研究会の流れ】



##### ここがポイント！

- タブレットは必要に応じて動かします。マイクは、できれば集音マイクを使い、左右か中央で音声が聞き取りやすい場所に設置しましょう。(ハウリング防止のために、一か所に設置することをお勧めします。)
- 協議の柱は事前に参加校と共有しておくことで、授業後の協議は、それぞれの学校でスムーズに行うことができます。また、運営者・司会者等を、会場校だけでなく、各校にもおきましょう。

## 5 道徳教育改善・充実のための情報発信

研究協議会で出された改善策を日々の授業や次の授業研究の計画に取り入れ、生かしていくことが大切です。また、校外の道徳教育に関する研修会等で得たことは、個人一人のものとしてせず、積極的に情報発信することで、学校全体の道徳教育の充実を図ることにつながります。

### 〈事例1〉 授業研究後の研究だより(教員向け)

#### 研究だより R1.Z.16 no.4 7/12 道徳科(1A)研究授業

お忙しい中、ご閲覧いただきありがとうございます！上野自身、大変勉強になりました。生徒たちはとても頑張っていたと思います。いただいた指導・助言をお伝えします。ぜひ、参考にいただければと思います。道徳だけでなく、普段の授業でもぜひ！

#### ★「生徒同士の対話」を！

発表してくれたら、ついついその生徒に切り返しをしがち。そこを、「**他人は今何を考えているのか？**」など、他の生徒に確認をする。そうすると、生徒同士の意見の交換になっていく。



#### ★集団思考の手立て=対話的学び

とってつけたようなグループ活動ではなく、ワークシートを見ずに説明し合わせたり、役割を持たせたり、全員の意見をまとめさせたりするなどして、**生徒の思考が深まるような手立て**を考える。

#### ★切り返し発問を有効活用する

生徒の意見を受け止めつつ、「でも、こんな時はどうするの？」など、**一歩踏み込んだ返し**をする。その生徒が答えられなくても、他の生徒にふると答えられるかもしれない。**生徒が深める展開**にする。

#### ★教材で「何を考えさせるか」を具体的に

人生の転換点が悪かれているのが道徳の教材。主人公の心の変容は何がきっかけなのか、どんな風に変ったのか、何がそのようにさせたのか、など**教材研究**が大切！

また、今回のように項目がずれないように、「**生徒がどんな言葉を通してくるか**」を想定しておく、どう修正するか、どんな言葉が返ったらゴールなのかなどをイメージする。

アンケートも、生徒の考えを深められるような使い方を！



#### ★自我関与

教材と生徒自身の経験をつなぎあわせる。頭では分かっている、けれど現実には……。

#### ★全員発言を目指す

社会人としても必要な、人前で自分の思いを語れる力をつけさせる。自分の意見を受け止められる共感の人間関係も大切、**自己存在感**（オレ、けっこうやれるじゃん！と心でつぶやける機会）を与える。発表をたくさんしてくれる生徒もいるが、ときには**意図的指名**も必要。



授業研究後に、成果と課題を整理し、ポイントを絞って全員が共通して取り組むことを提示すると効果的です！

授業の様子を写真等で整理して、発信するのも効果的です！

明日からの授業に生かせる工夫を行いましょ！

授業記録を保管しておくこと、次年度の参考になりますね！

配付する際に、説明を一言添えると効果的です！



#### 小中連携道徳通信1号

令和2年 7月10日

発行者：〇〇

今年度、「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」を研究主題とし、小中連携の重点項目をB「人との関わりに関すること」とし、研究を進めています。授業では、「自分の考えを待つ」「対話で考えを広げる・深める」「自分を振り返る」活動を展開や終末で位置付けています。これまでの授業実践の一部を紹介します。

#### ～授業実践の紹介～

(主題名) 相手のための親切 B (7)【親切、思いやり】

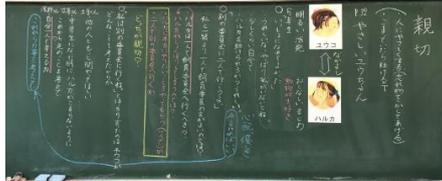
(教材名) 「やさしいユウちゃん」【小学道徳 生きる力 5】(日本文教出版)

授業者 〇〇教諭

#### <授業のポイント>

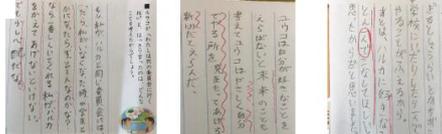
1. 主人公ユウコの心情読解レベルで終わらず、道徳的価値(親切)に対する感じ方や考え方についてまで考えさせる。
2. 目先の事だけでなく、相手のこれから考えた親切について考えさせるために補助発問(「ユウちゃんってやさしくなったんだね」)を行う。

#### <反省>



#### <児童のノートから>

「相手のこれから考えた親切」について考えを深めることができました。



#### ～授業の記録～

① 日時	令和2年 6月 23日(火) 第(2)校時
② 学校・学年・組	〇〇学校・5年・1組
③ 本時のねらい	「 <b>親切には言いにくいこともはっきり言うユウコの考え方について考える</b> 」を通して、相手の気持ちも考えるだけでなく、 <b>本当に相手のためになることを考える親切が出来ること</b> に気付く。進んで親切にしようとする道徳的意欲を育てる。
④ 学習指導過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなにとって、親切とはどうすることですか。</li> <li>&lt;質問&gt;</li> <li>●<b>総論①</b> (始め～P552) を行う。</li> <li>○「ユウちゃんと一緒になれたよよかった。もう安心だよ。」とハルカに言われたユウコはどんな気持ちだったか。</li> <li>・そう言われてうれしい。</li> <li>・(私)が 満足。</li> <li>●<b>総論②</b> (P553～終わり) を行う。</li> <li>○ (本当にそれでいいのかな。)としばらく考え込んだユウコは何を考えていたか。【<b>評価①</b>] [①ア：今まで通りハルカを助けて自分も満足したいという気持ちとそれが本当にハルカのめになるのかを考慮しているユウコの立場を自分に置き換えて考えようとしているか]・ハルカは自分のやめたことをやめた方がいい。・私と一緒により自分の思いを優先すべきなのではないか。・ハルカは自立してはいけい(自分の意思を大切に)して行動してほしい。・<b>親切はユウちゃんってやさしくなったんだね。</b></li> <li>・そうなのかな。</li> <li>・いや、違う。僕しいよ。</li> <li>○ユウコが「わたしは別の委員会に一人で行くね。」とはっきり言ったのはどんなことを考えたからか。【<b>評価②</b>] [②ア：あえて厳しい態度を取ったユウコが、ハルカにとって一番ためになることを考えていることを多面的に考えようとしているか]・自分のやりたいことをやめてほしい。・自分でしてほしい。・自分のやりたいことを我慢して私に合わせるよ、ハルカを不幸にしてしまうのではないか。</li> <li>&lt;終末&gt;</li> <li>○親切とは、どのようなことだと考えますか。【<b>評価③</b>] [③ア：これまでの自分の親しい考えを振り返り、相手のために考える親切について考え、生活に生かそうとしているか]●<b>教師の総論</b> (親切にして、されてよかった教師の体験) をする。</li> </ul>
⑤ 成果	教材理解を補助発問を用いてスムーズに行い、中心発問を部分に取り取ることができた。また、主人公ユウコの心情読解レベルで終わらず、その思いを支える考え方や信念(道徳的価値レベル)についてまで考えさせることができた。補助発問も充実させ、考えを深めることができた。
⑥ 課題	ユウコの心情読解で留まらなかったが、「これからのことを考える」など、良い意見が出て、悩ませることがあった。P4の17で分割し、「しばらく考え込んだユウコは何を考えていたか」を強調しても良かったのではないかと。また、児童から考えを引き出したり整理したりするための思考ツールや、児童同士の対話を生かす手立てについても検討していきたい。
⑦ 今後に向けて	児童から考えを引き出したり整理したりするための思考ツールや、児童同士の対話を生かす手立てについて検討していきたい。



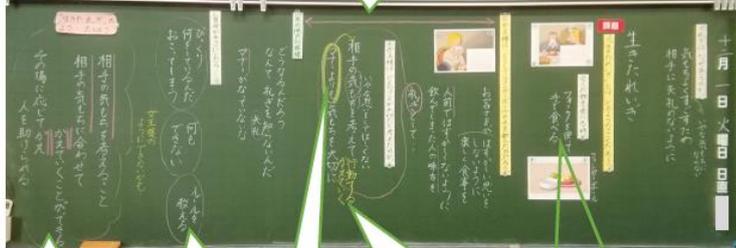
### 〈事例3〉 教職員間の情報共有資料

特別の教科 道徳 共有していきましょう！

教務研究部  
R2.12.7

#### ○児童の発言やつぶやきを受け止め、整理しながら児童にとって思考しやすい板書の工夫をめざしましょう。

(最近の板書：参考までに…)



比較して見せることで  
考えやすくさせる。

児童から出た言葉  
から、本時のねらいに  
せまることができる。

仲間に分けて  
示す。

児童から出た言葉  
を教材とする。

教材の内容を理解できる  
ようにするための板書。

思考の流れ、つな  
がりを表す。

R3.2.9

#### ○児童の考えや振り返りの内容(自分事)を深める、視覚化を目指した板書(例)

⇒必要に応じて(いつも必要だとは限りませんが)、登場人物の変化を矢印で表すことも、取り入れてみましょう。



#### 参考資料

令和 年〇月〇日(〇)  
道徳教育推進教師 〇〇〇 〇〇〇

#### 道徳参観日について

道徳教育は、学校、家庭、地域社会の三者がそれぞれの役割を果たすことによって、その充実をより図ることができる。社会の価値観が多様化する中で、三者の連携はますます重要性を増している。学校で指導した内容が、家庭や地域社会の中に反映されたり、家庭や地域での生活が学校の生活に生かされたりすることで道徳の実践力を身に付けることができる。

そのために本校では、保護者に、学校の教育活動を通して行われている道徳教育や道徳科への理解を促すために道徳参観日を設定している。

1 日時 〇月〇日(〇) 5時間目

2 道徳参観日の道徳科の効果的な方法について

##### (1) 間接的な参加の方法

- 授業の内容をもとに終末に保護者へ手紙を書かせる。  
→後日、保護者の対応や感想を学級通信で全体に広める。
- 授業の中で保護者の手紙や思いを伝える。  
→事前に保護者への授業のねらいを伝え、手紙やメモを書いてもらうために事前の取組が必要となる。また、児童に手紙を渡す場合は、全員の児童へ手渡せるように配慮する。

##### (2) 直接的な参加の方法

- 授業の資料提示を保護者に手伝ってもらう。(資料の読み聞かせをお願いする・役割を決めて台詞を読んでもらう。等)
- 授業の終末や内省化で自分の思いを語ってもらう。
- ビデオレターや手紙をお願いしておく。(手紙は、指導者が代読してもよい。)
- 授業と一緒に参加してもらい、発問に対して児童と同じように考えてもらい場合によっては、発言を促す。(児童と違う発問を準備し、保護者の立場で考えて発言してもらうことで、児童に保護者がどのように考えているかを伝え、児童の考えを深めることもできる。)

3 学級懇談会について

学校で推進している道徳教育や授業参観日の道徳の時間のねらいや求める価値について分かりやすく伝えることで、学校と家庭が共に補い合い連携しながら、一貫した道徳教育を進めていくことができるようにする。

4 事後交流について

- 月〇日(〇)の研修…事前交流。
- 月〇日(〇)の研修…授業及び懇談会の内容について交流。

研究を進める中で、大切にしたいことや意識統一を図りたいことについては、具体を示して提示することで、伝わりやすくなりますね！



道徳科に関する授業研究の実施、道徳科の授業公開や情報発信などを、道徳教育推進教師が中心となって協力して進めることが大切です！



〈事例4〉 道徳だより、学級だより、学校だより（保護者・地域向け）

家庭、地域社会と連携し、地域の文化を共に創り、子供たちを育てていくという意識の下に、よりよい協力体制を築き上げていきましょう！



道徳科で児童生徒が、どのようなことを学んでいるのかを写真等で紹介することで、保護者の方に具体的に理解してもらいましょう。

6年生学級通信

令和2年10月19日 No.17



研究会では・・・

9日(金)の5・6時間目に道徳の研究会がありました。

6年生は「ブランコ乗りとピエロ」という資料で授業を行いました。このブランコ乗りとピエロでは、サーカスの舞台裏で生じた二人のスターの対立に焦点を当て、自分を大切にしながら相手を尊重していくためには、異なる立場や思いをどのように捉えることが大切なのかを考えられるように構成されています。互いをライバル視し、相手を受け入れられないでいるピエロとブランコ乗りのサムの関係は、とても興味深く、サムの言動に腹を立てながら、その頑張りを目の当たりにする場面から、相手を受け入れることの難しさや大切さを考えることのできる資料となっています。子どもたちは真剣に聞いたり、発表したりと大活躍でした。また、授業の最後には、偉人の言葉を紹介しました。ヘレン・ケラーの残した言葉で「寛容さは、心への最大の贈り物だ。」ということを紹介しました。深くは説明をしていないので、子どもたち自身で考えてくれたら良いと思います。

また、その後の協議の中でも6年生が頑張って発言していたり、自分の考えをしっかりとノートに書いたりしていたと言っていました。本当に頑張りをみせることができた1時間でした。



小早川隆景に学ぶ～道徳の時間～

みなさん小早川隆景のことをどれくらい知っていますか。本郷小学校の三つ巴の校章が小早川家の紋章と同じことは知っていると思います。歴史ある町本郷。豊かな沼田川が目の前を流れ、交通の要所であった本郷。この地を小早川隆景は選び、高山城そして新高山城へと移り来ました。激動の戦国時代を小早川隆景はどう生き抜いたのか。そして今も歴史として残る武將になっていったのでしょうか。そしてどんな人柄だったのでしょうか。今も語り継がれているエピソードが数多くあります。歴史の学習や総合的な学習でいろいろな学習をしているかも知れませんが、そのひとつを紹介しましょう。

織田信長の勢力が中国地方に及び、その総司令官羽柴秀吉が毛利方の清水宗治の守る備中高松城を攻めました。その戦法も「水攻め」です。城の周りは湖のようになり、毛利隆元、吉川元春、小早川隆景も兵隊をひきつり、前線に近づけました。どうすることもできませんでしたが、長いにらみあいの末、城主清水宗治は自らの切腹とひきかえに降参を成立させました。

こうして、隆景たち、毛利軍と秀吉たち秀吉軍が見守るなか、宗治は船の上で切腹し、毛利軍と秀吉軍との間で約束された「和議文書」(わぎぶんしょ)を交換しました。これで、お互いに約束を交わしたことになります。隆景は毛利軍の者は、みんな涙を流したそうです。それを見届けた秀吉軍は、堤防の一部を切り崩したかと思うと、ものい速さで東へ退かしていききました。

下総灘などを渡るものと噂。元春、隆景は思いましたが、じつは京都で大変な事件が起こっていたのです。秀吉主人である織田信長が、秀吉と同じ家来の明智光秀に殺されていたのです。

隆景たちが知ったのは、秀吉軍が退却したすぐ後でした。隆景、元春の二人は、「秀吉軍を追いかけ、後ろから攻めよう。」「清水宗治の敵討ちができるぞ。」などと言い、追撃しようとした。しかし、隆景は二人の意見を止めた。「お二人の気持ちは、よく分かります。しかし、秀吉軍を追いかけ攻撃してはいけません。約束の文書を交わしてはなりません。ここで、追いかけて攻撃をすれば、後々まで毛利軍はひきょう者だと言われる。それに、家も大將が裏切りをするんだから、自分たちだって何もかもなくなってしまう。それよりも、毛利軍を追い追いかけて退却してしまおう。中国地方で一番強い毛利軍の旗を持っていたら、きっと秀吉軍の役に立つと思いませんか。」「元春の二人も、隆景の意見に従いました。

その後、秀吉が天下を統一しましたが、隆景の人を認めた秀吉は、「東は徳川家康、西は小早川隆景に任せよう。天下は大丈夫だ。」と言いました。隆景は大変信頼されたそうです。

小早川隆景は新高山城からどんな思いで本郷の地を見ていたのでしょうか。町並みは変わっていますが、みなさんも春の選定で同じ場所から本郷の町をながめたいですね。そして本郷小学校の校章を見てみましょう。この校章には今までの本郷に生きてきた方々の思いがこめられているのではないのでしょうか。あなたたちはこの本郷の地をどのように思いますか。

みなさんは、上記の資料を読み、何を感銘しましたか？

6年生の児童は、総合的な学習の時間に「小早川隆景」について、調べ学習をしています。その調べた内容を10月22日にリージョンプラザで行われた「希望と未来フォーラム」で、立派に発表をしました。それに際立って、道徳の時間の学習で「織田信長」をテーマに「小早川隆景」について学習をしました。

7年生の児童に「本郷小学校の校章には今までの本郷の人たちのどのような思いが込められているのだろうか」と質問をしました。子どもたちは、「隆景のような立派な人になってほしい」「三つ巴の魂をもらった立派な人になってほしい」などの考えを発表しました。最後に「みんなにとって本郷はどんな場所ですか」と質問すると、「自分の好きなおもちゃ」「私にとって大切な場所」「必ず帰ってこるところ」など本郷を大切にしていきたいという思いを語ってくれました。子どもたちが大切にしていきたいと思う「本郷」。郷土を愛する子どもたちをしっかりと育てていきたいと感じました。

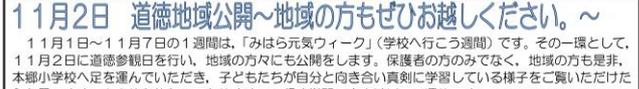


究授業を行いました。

資料は、中学校の「裏庭の出来事」(あかつき出版)を使い、学習を進めました。資料の内容としては、「学校で禁止されている裏庭でサッカーをしていた健二と大輔と健一。そこに猫に襲われそうになった鳥のひな。健一はひなを救おうとボールを投げた。ボールにひっくり返り猫は逃げ、ひなは助かった。しかし、ボールによってガラスを割ってしまった。そのことを、健一が正直に先生に報告するため職員室へ行った間に、残された健二と大輔は、サッカーを始める。しかし、鍵が鍵かたボールが当たり、もう一枚ガラスを割ってしまった。そこへ先生を連れて大輔が来た。大輔は、2枚ともひなを助けようとしてしまったとごまかしてしまおう。うまくごまかせたという大輔。でも、健一は、このままでのひなを助ける。先生に正直に話した方がいいのか、ごまかしたままのほうがいいのか。・・・」

ガラスを割ってしまった健二の気持ちを中心に考えさせました。小学生からは「自分に嘘をつけない」「本当のことを言うですっきりしたい」など、誠実に行動した方がいいのではないかと意見がでました。しかし、中学生は、「正直に言うことで3人の関係が別れてしまうのではないかと」「正直に言っても仲良しの3人よりもどることはできないか」と発達段階で友情を大切に考える意見がみられ、6年生も中学生から学び、より深い価値に気づくことができた。

これからも、異学年の交流など様々な学びに挑戦し、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。



正直に言った方が・・・  
明日あやまろう。でも、三人の仲が。

11月2日 道徳地域公開～地域の方もぜひお越しください。～

11月1日～11月7日の1週間、「みはら元氣ウィーク」(学校へ行こう週間)です。その一環として、11月2日に道徳参観日を行い、地域の方々にも公開をします。保護者の方のみでなく、地域の方も是非、本郷小学校へ足を運んでいただき、子どもたちが自分と向き合い真剣に学習している様子をご覧いただけます。心よりお待ちしております。日程や学習の内容は以下の通りです。

日時・場所	11月2日(水)	授業公開	13:55～14:40	各教室
		講演会	14:45～15:45	体育館
		演題	「必聴!聴いて得る親業のななし!」	
		講師	三原市教育委員会教育相談指導員 高山 哲俊 先生	

授業内容	第1学年	いつもありがとう (尊敬・感謝)	「ありがとう」(光村図書)
	第2学年	助け合う友達 (信頼・友情)	「森のともだち」(東京書籍)
	第3学年	自分らしさ (個性の伸長)	「じゃがいもの歌」(東京書籍)
	第4学年	友だちのよさを知る (信頼・友情)	「ほくらだっぺオーケストラ」(東京書籍)
	第5学年	チームのために (約束や規則の尊重)	「星野君の二のい打」(東京書籍)
	第6学年	本当の友達 (信頼・友情)	「ロレンソの友達」(日本標準)
あおそら		毎日を気持ちよく(規則正しい生活)	「そこだねボタタク」(光文書院)

道徳地域公開について、学校通信やHP等で紹介し、家庭や地域の方に道徳の授業を公開しましょう。

〈事例5〉 道徳教育に関する掲示板等



教室や校舎内などの環境を整え、児童生徒の豊かな心を育み、道徳的実践への意欲を高めましょう！



全校掲示板を活用しましょう！

学習した内容を常に振り返ることができる道徳的な環境づくりをしていきましょう！



道徳の時間で学習したことを残していきましょう!!



共有スペースを効果的に活用しましょう

図書室

ワークスペース



道徳教育は、学校の教育活動全体で進めていくことが大切です。学んだことを全校のものにしていきましょう！

